

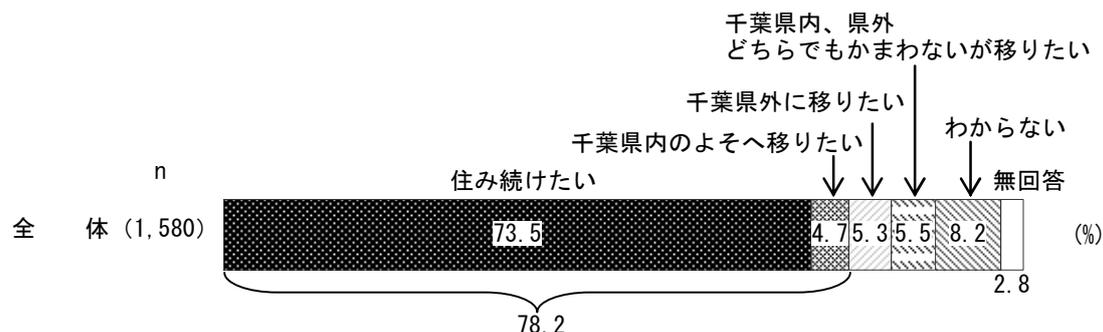
# 1 環境と生活について

## (1) 今後の居住意向

◇「住み続けたい」が7割台半ば

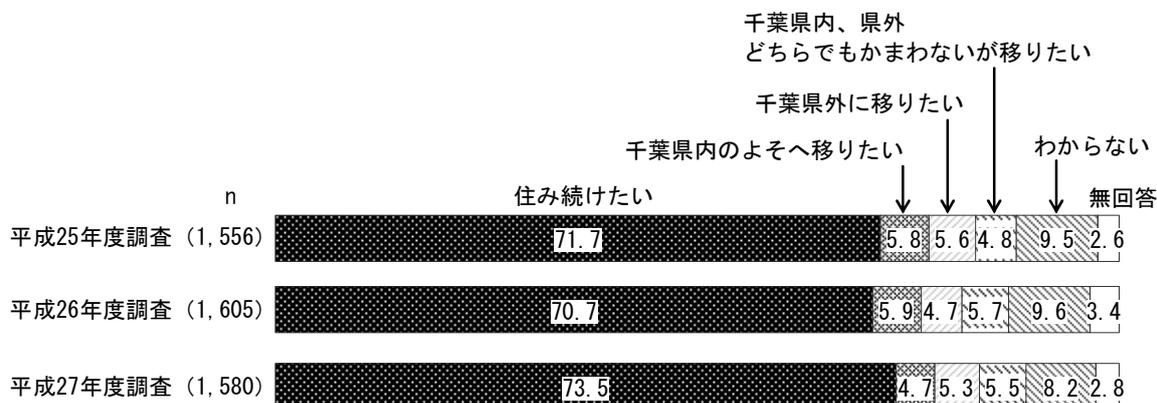
問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-1>今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.5%)は7割台半ば、「千葉県内のよそへ移りたい」(4.7%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(78.2%)は約8割である。一方、「千葉県外に移りたい」は5.3%となっている。(図表1-1)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



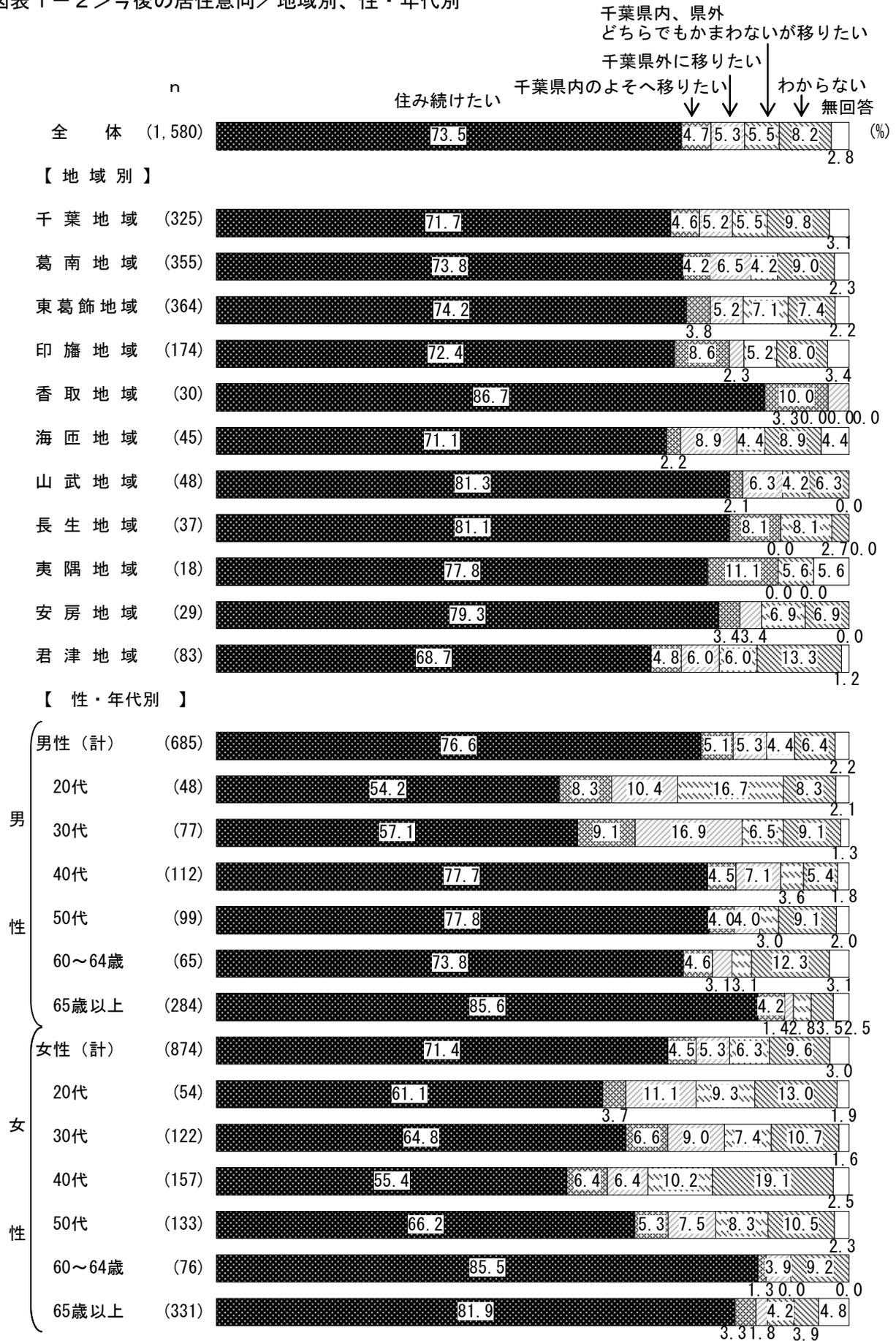
### 【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“香取地域”(86.7%)で8割台半ばと最も高く、“山武地域”(81.3%)、“長生地域”(81.1%)で8割を超えて高くなっている。(図表1-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(85.6%)と女性の60~64歳(85.5%)で8割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-2)

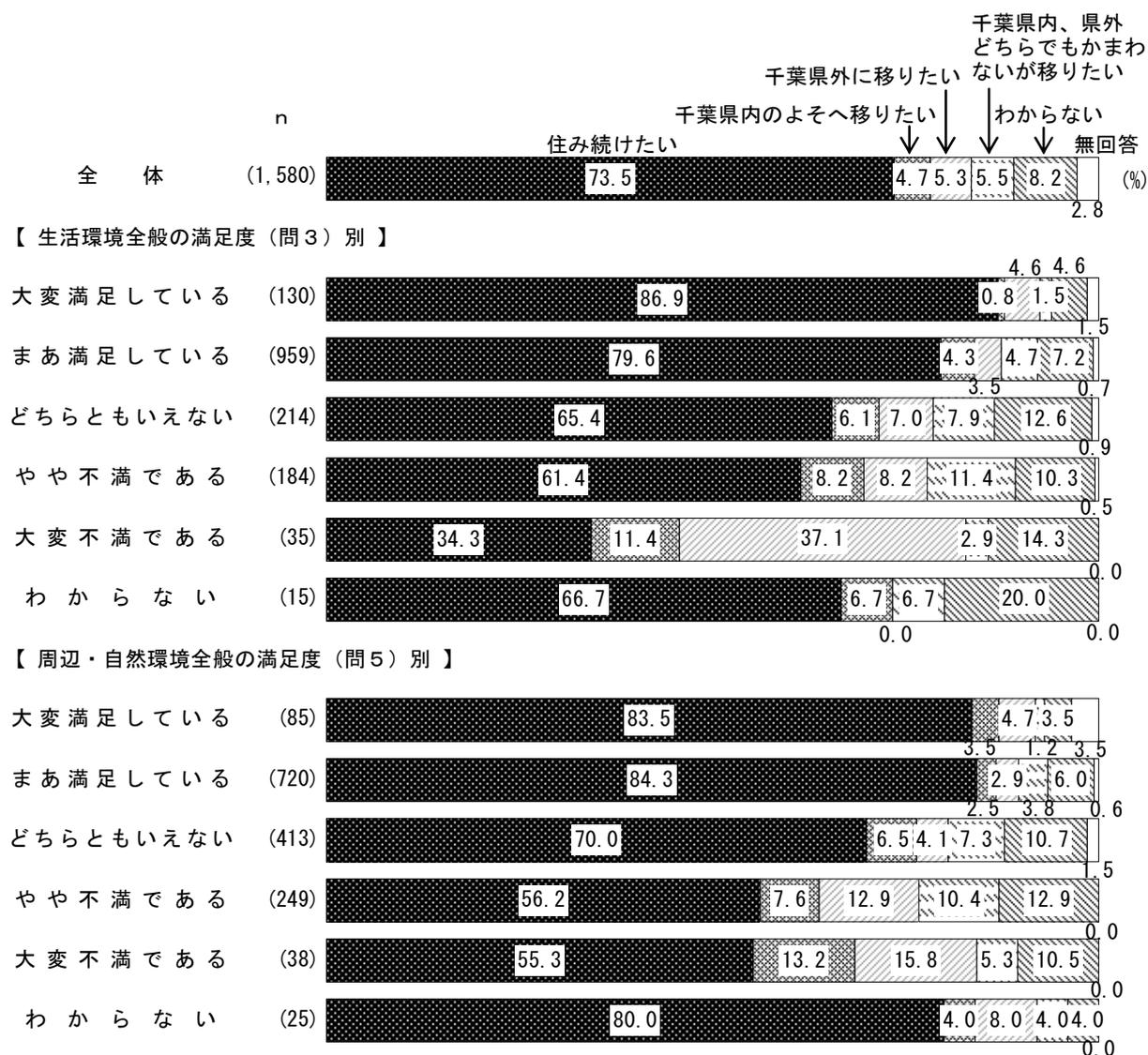
<図表1-2> 今後の居住意向/地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3>今後の居留意向と各環境の満足度



## (1-1) 住み続けたい理由

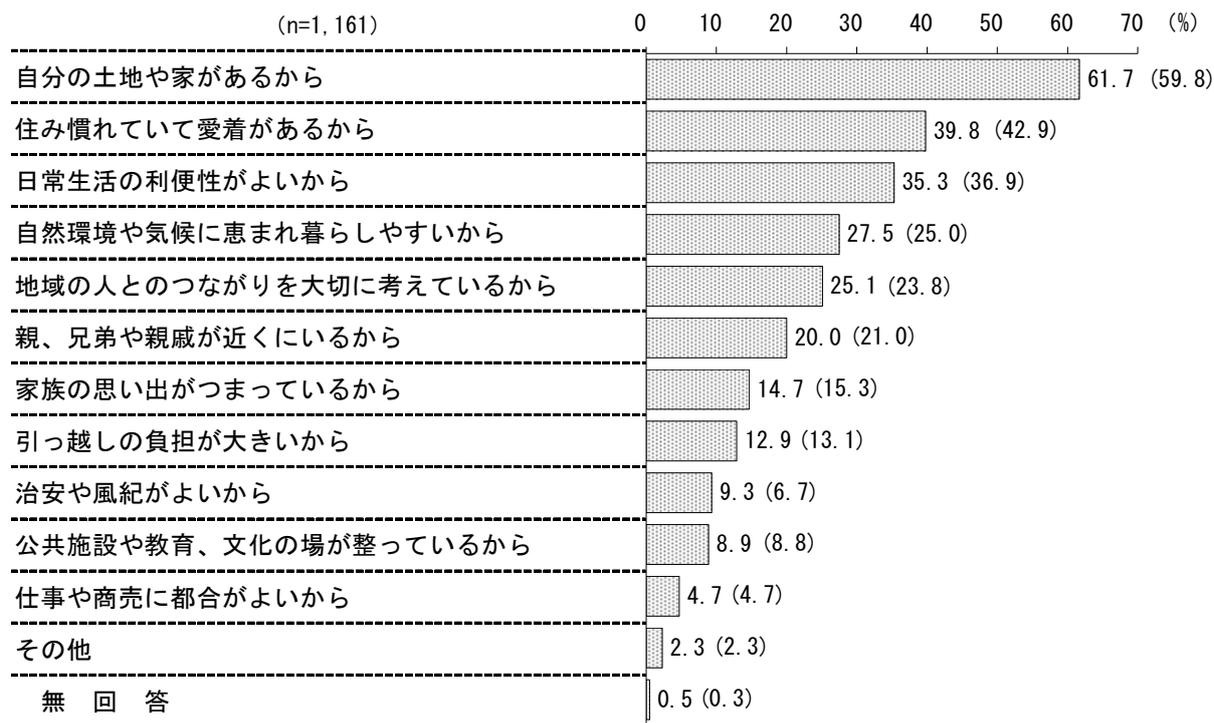
◇「自分の土地や家があるから」が6割を超える

(問1で「住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(○は3つまで)

<図表1-4>住み続けたい理由(複数回答)



注) ( ) の数字は平成26年度と同様の項目による調査結果 n=1,134

「住み続けたい」と回答した1,161人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(61.7%)が6割を超えて最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(39.8%)、「日常生活の利便性がよいから」(35.3%)が続く。(図表1-4)

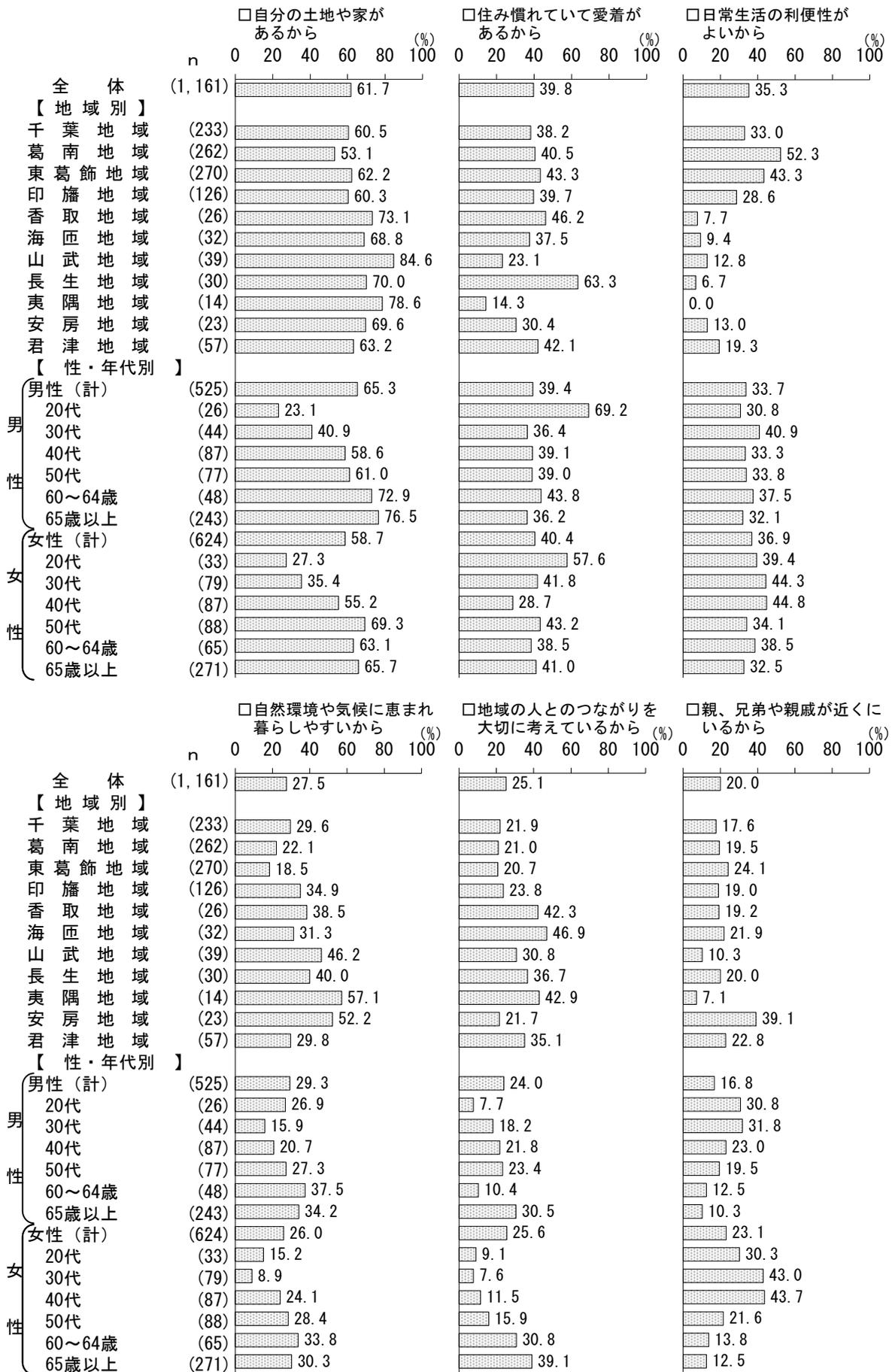
### 【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“山武地域”(84.6%)で8割台半ば、「住み慣れていて愛着があるから」は“長生地域”(63.3%)で6割台半ば、「日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(52.3%)で5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-5)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の65歳以上(76.5%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は男性の20代(69.2%)で約7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-5)

<図表1-5> 住みたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



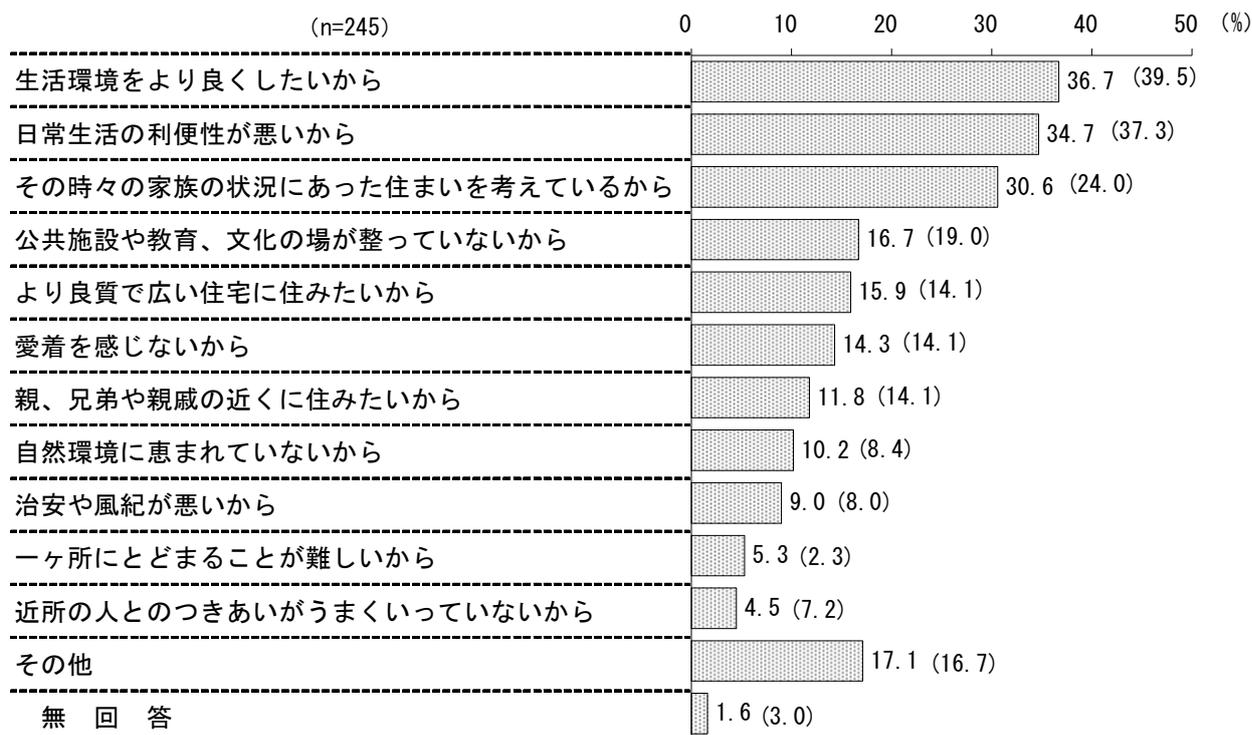
## (1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が3割台半ば

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな  
いが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由(複数回答)



注) ( ) の数字は平成26年度と同様の項目による調査結果 n=263

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわな  
いが移りたい」と回答した245人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境を  
より良くしたいから」(36.7%)が3割台半ばと最も高く、以下、「日常生活の利便性が悪いから」  
(34.7%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(30.6%)が続く。(図表1-  
6)

### 【地域別】

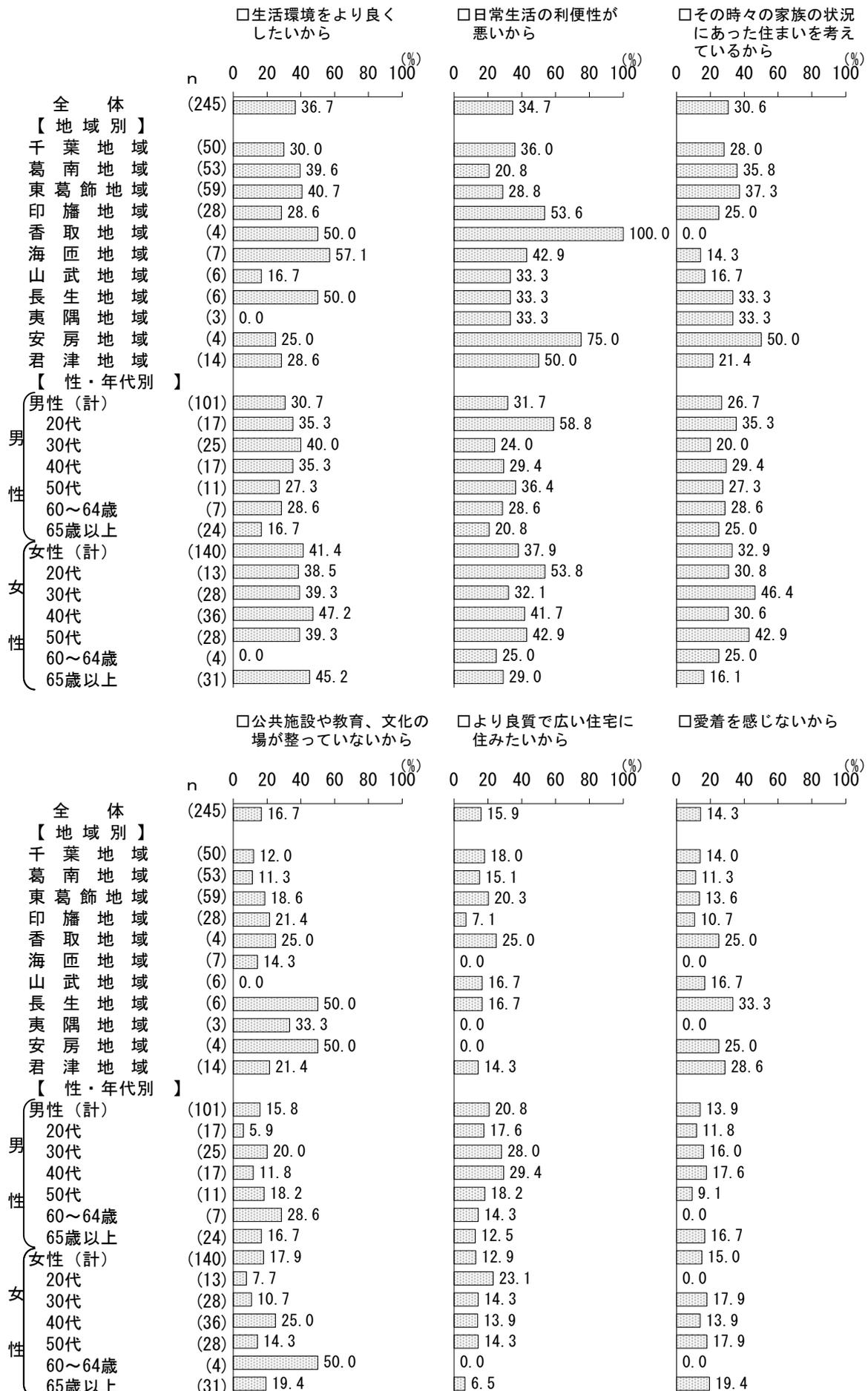
地域別にみると、「日常生活の利便性が悪いから」は“印旛地域”(53.6%)で5割台半ばと他の地  
域に比べて高くなっている。(図表1-7)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「日常生活の利便性が悪いから」は男性20代(58.8%)で約6割と他の年代  
に比べて高くなっている。(図表1-7)

(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

<図表1-7>移りたい理由/地域別、性・年代別（上位6項目）



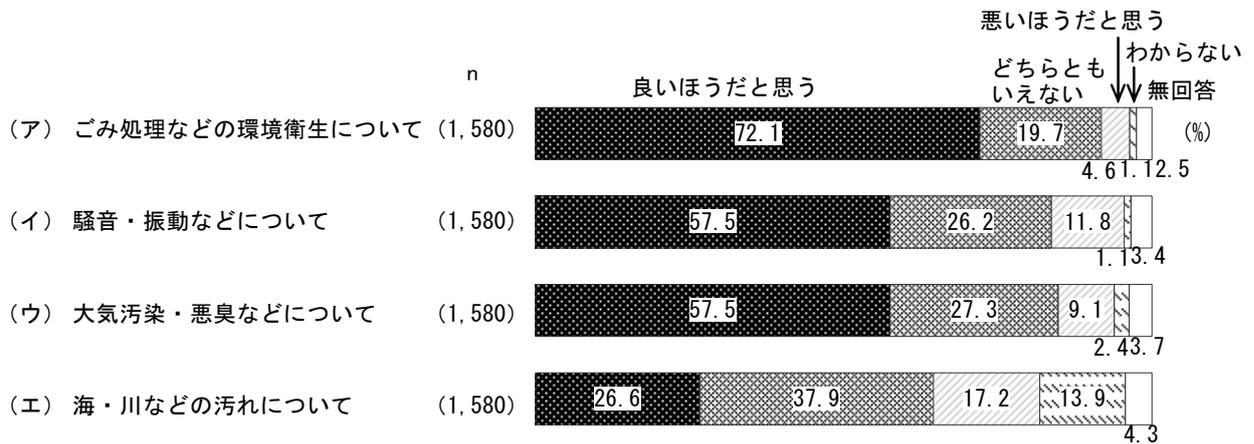
## (2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で7割を超える

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

〈図表1-8〉生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(72.1%)で7割を超え、以下〈騒音・振動などについて〉、〈大気汚染・悪臭などについて〉(同57.5%)が約6割となっている。一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(26.6%)と「悪いほうだと思う」(17.2%)の差がわずかとなっている。(図表1-8)

### 【地域別】

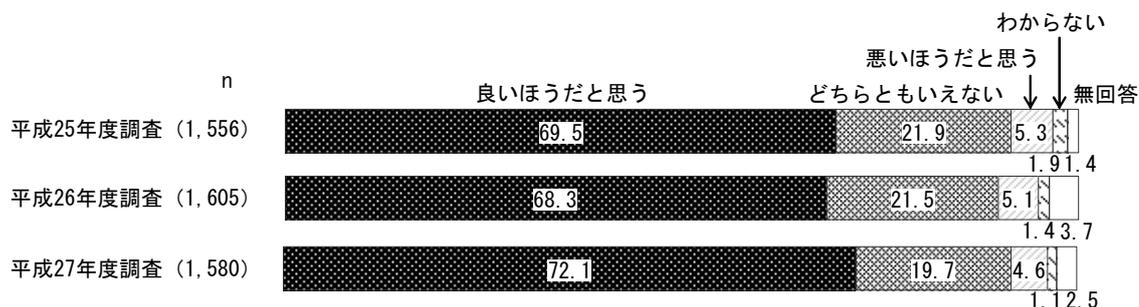
地域別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は、“印旛地域”(78.2%)で約8割、“葛南地域”(76.3%)が7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉においては、“夷隅地域”(72.2%)で7割を超えて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、“長生地域”(75.7%)で7割台半ば、“山武地域”(70.8%)、“印旛地域”(70.7%)で7割、〈海・川などの汚れについて〉においても、“山武地域”(41.7%)で4割を超え、他の地域に比べて高くなっている。(図表1-9)

### 【性・年代別】

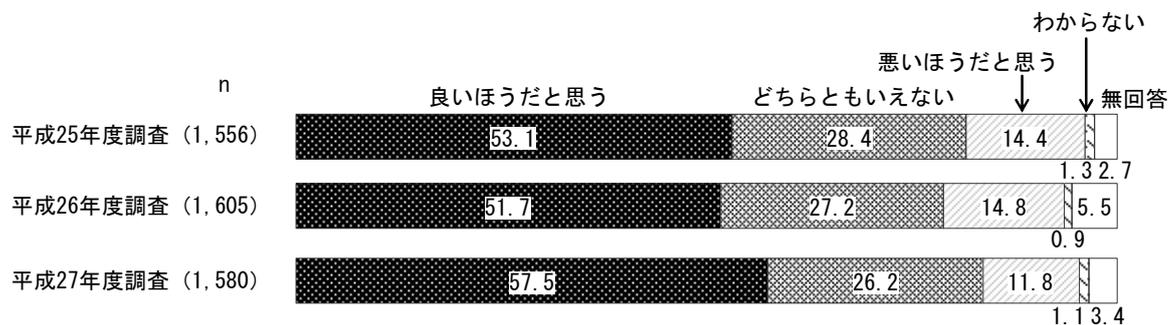
性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(82.4%)で8割を超え、女性の65歳以上(77.9%)で約8割と、他の年代に比べて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、男性の60~64歳(63.1%)、男性の65歳以上(63.0%)が6割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「悪いほうだと思う」は男性の20代(43.8%)で4割台半ば、女性の20代(35.2%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-9)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

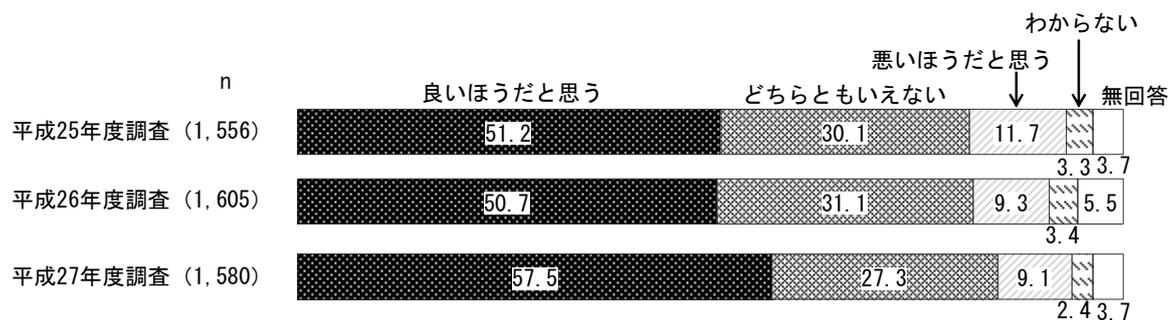
(ア) ごみ処理などの環境衛生について



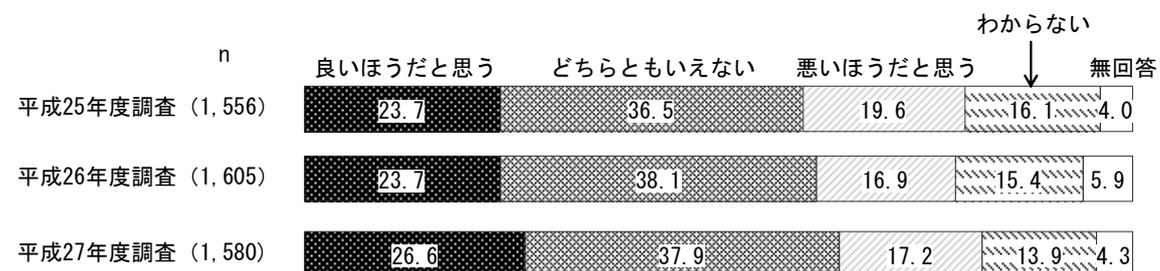
(イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

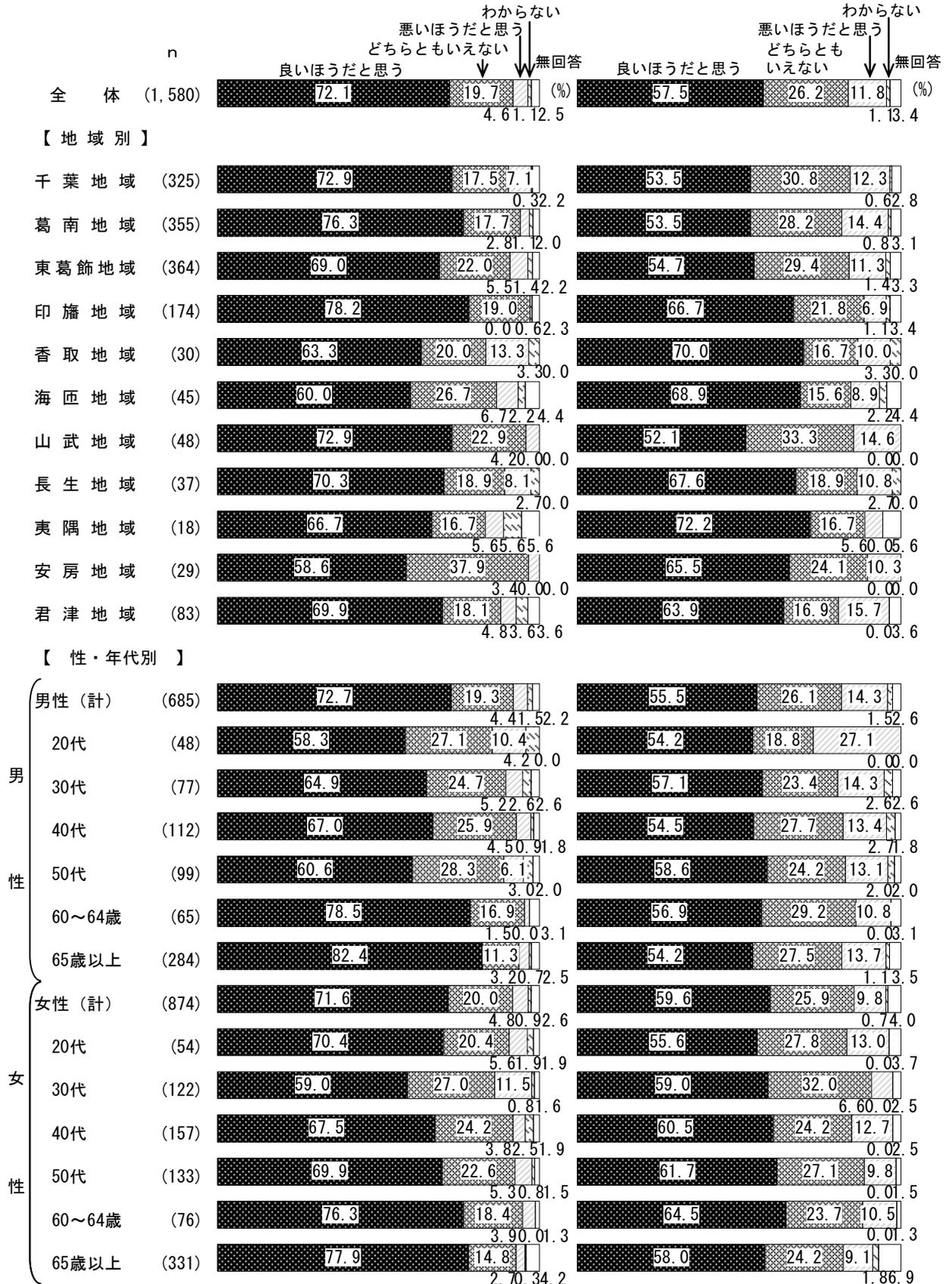


(エ) 海・川などの汚れについて



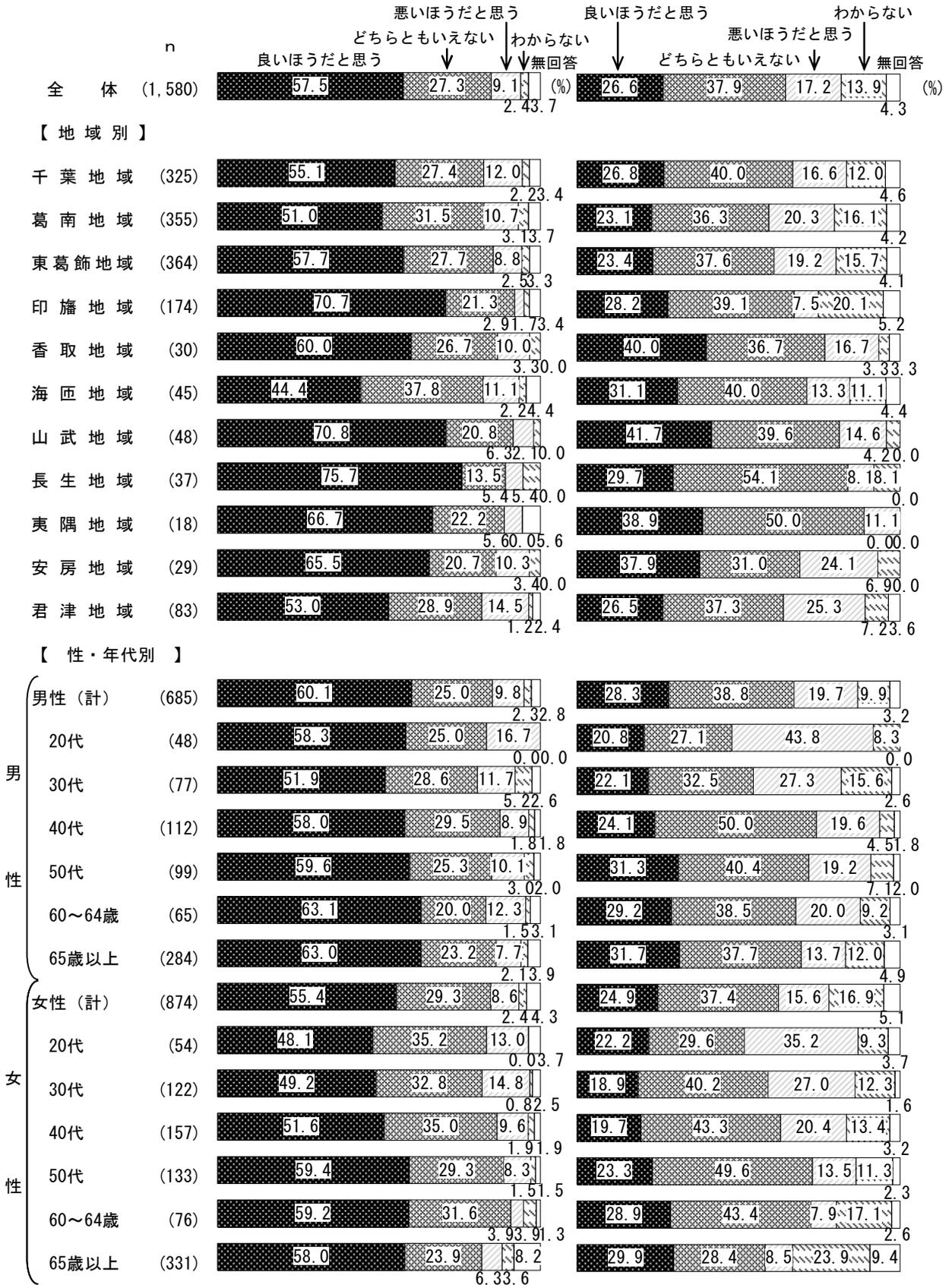
<図表1-9>生活環境について/地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

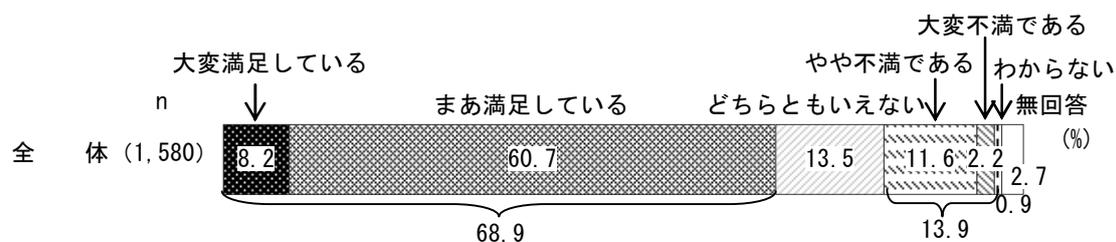


### (3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は約7割

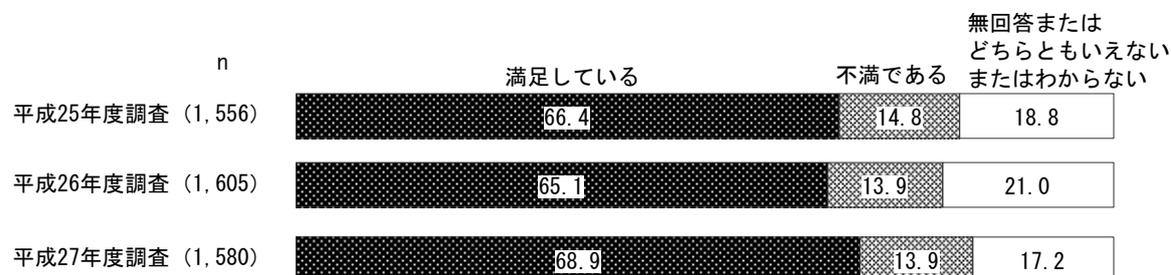
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。  
(○は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(8.2%)と「まあ満足している」(60.7%)を合わせた『満足している』(68.9%)は約7割となっている。一方、「やや不満である」(11.6%)と「大変不満である」(2.2%)を合わせた『不満である』(13.9%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



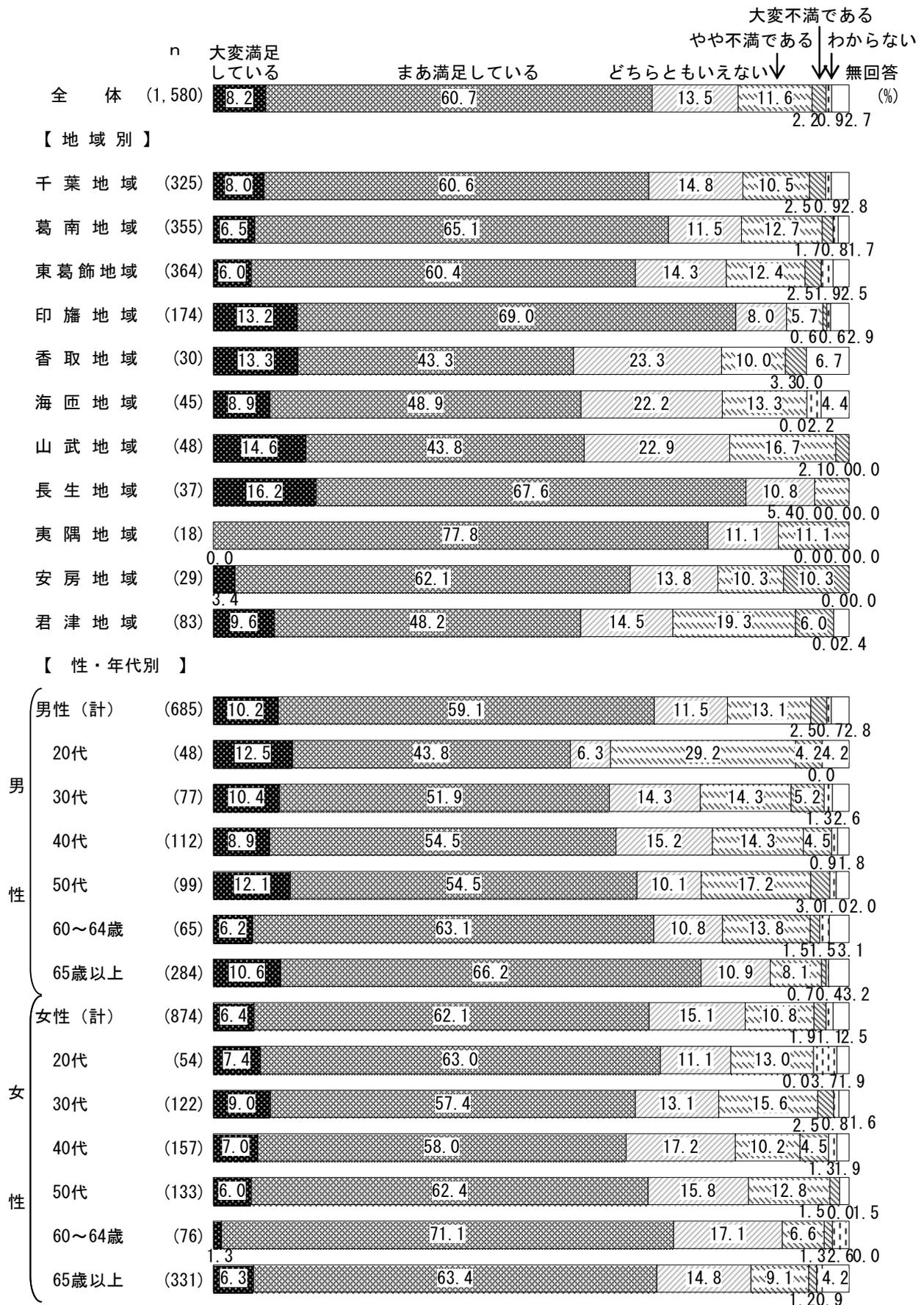
#### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は、“長生地域”(83.8%)で8割台半ば、“印旛地域”(82.2%)で8割を超え、他の地域に比べて高くなっている。一方、『不満である』は“君津地域”(25.3%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-11)

#### 【性・年代別】

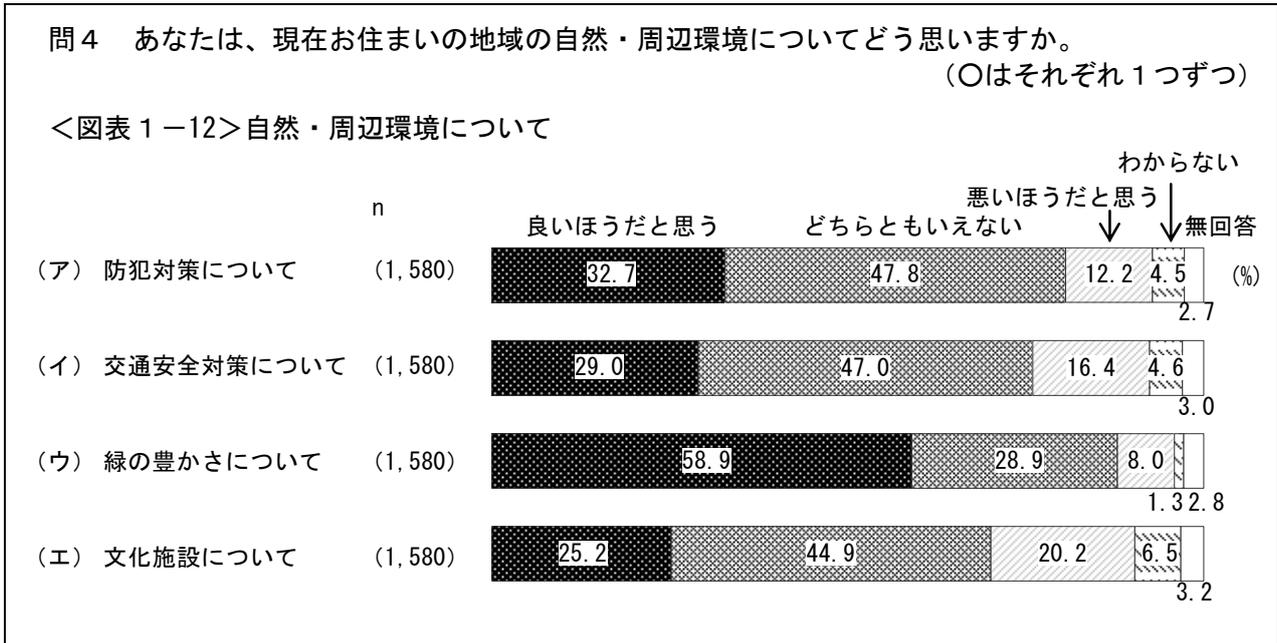
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(76.8%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-11)

<図表 1-11>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



#### (4) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で約6割



自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(58.9%)が約6割となっており、以下、〈防犯対策について〉(32.7%)、〈交通安全対策について〉(29.0%)が続いている。(図表1-12)

#### 【地域別】

地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(40.2%)で4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“香取地域”(40.0%)で4割と高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“香取地域”(96.7%)で9割台半ばと高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“葛南地域”(31.8%)で3割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-13)

#### 【性・年代別】

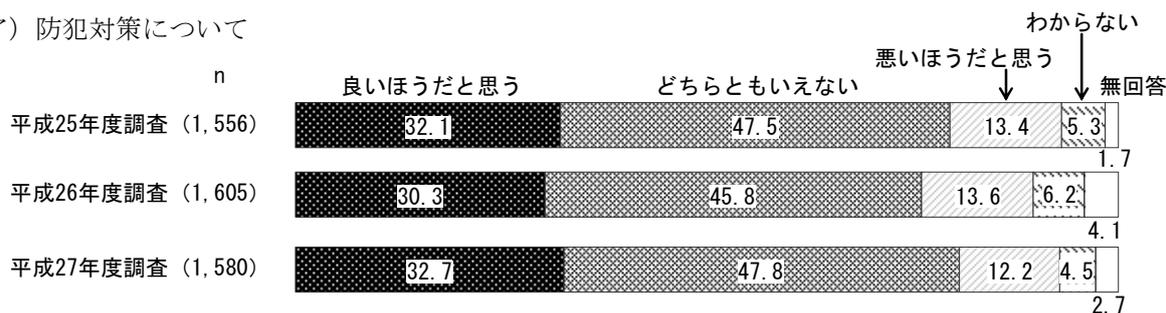
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(45.1%)で4割台半ば、女性65歳以上(41.4%)で4割を超えて高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性20代(27.1%)、女性30代(27.0%)で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。

〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は、女性の65歳以上(38.4%)で約4割、男性の65歳以上(34.9%)で3割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(37.5%)で約4割、男性の30代(26.0%)、女性の30代(25.4%)、男性の40代(25.0%)で2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

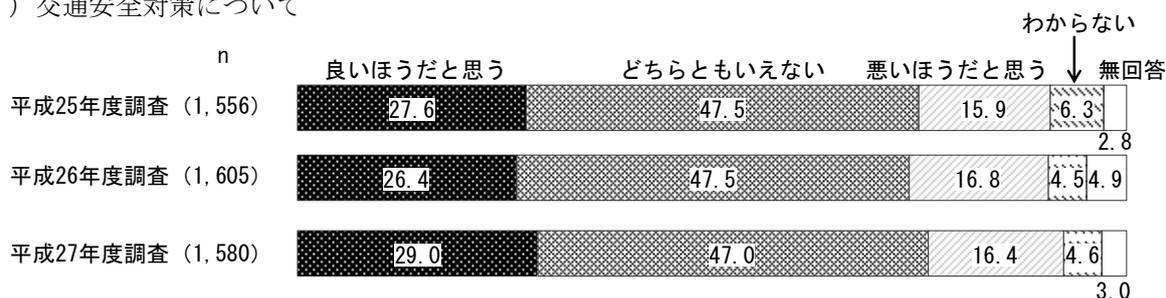
〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(66.9%)で6割台半ばと高く、〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(31.3%)で3割を超え、他の年代に比べて幾分高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

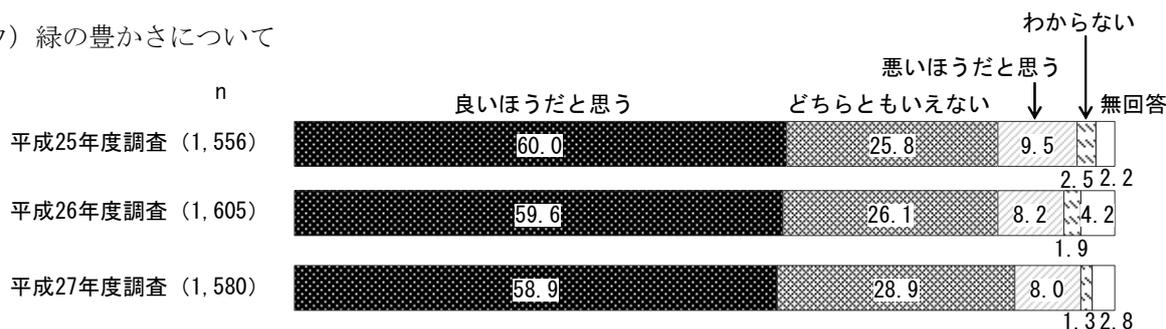
(ア) 防犯対策について



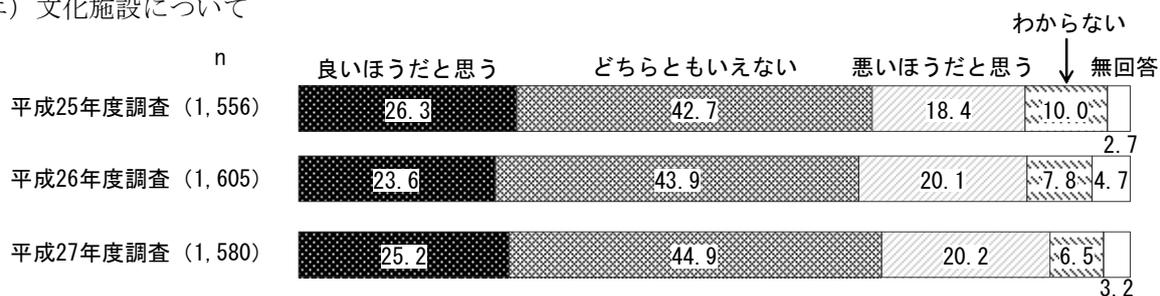
(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて



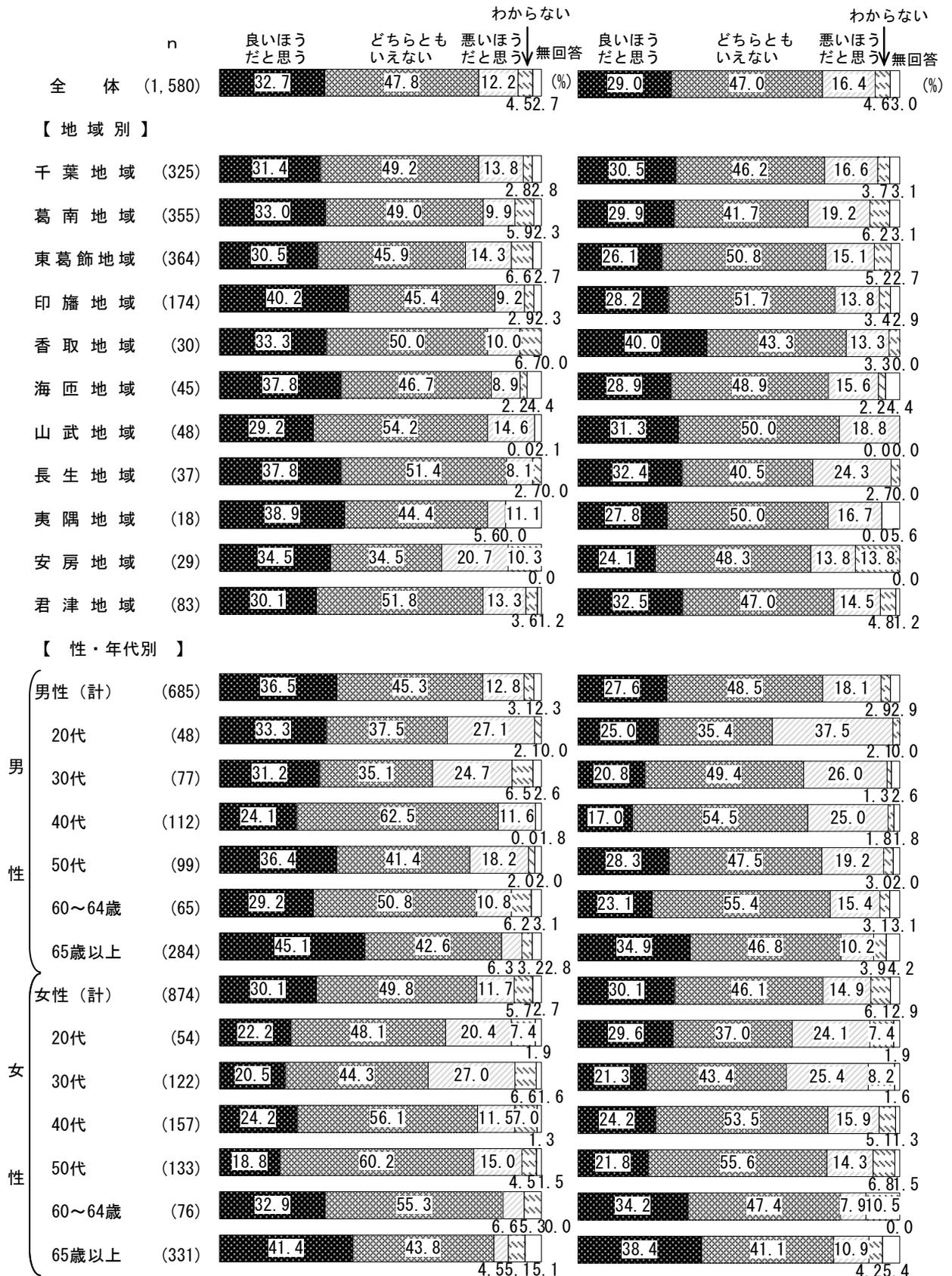
(エ) 文化施設について



<図表 1-13> 自然・周辺環境について／地域別、性・年代別

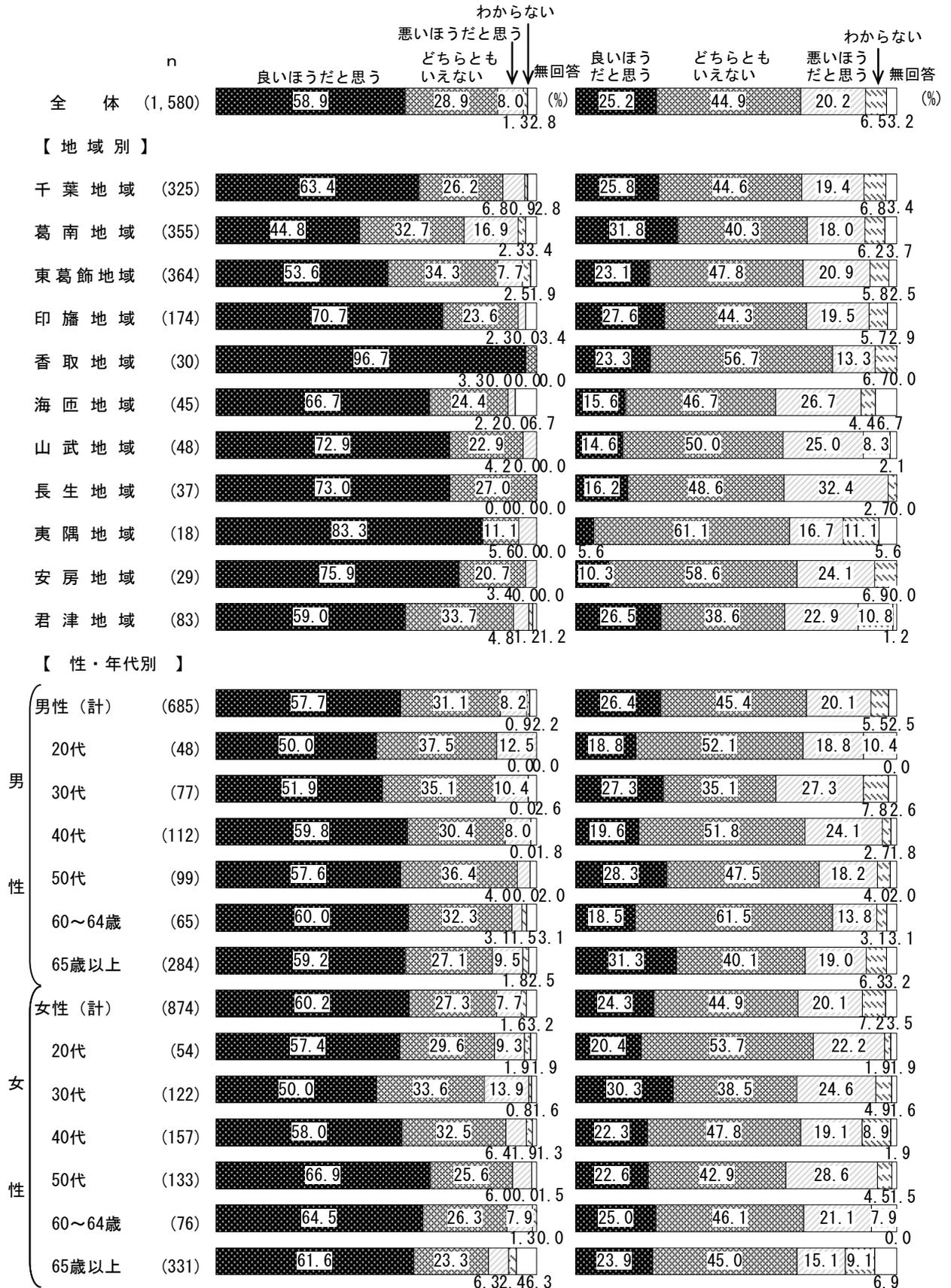
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

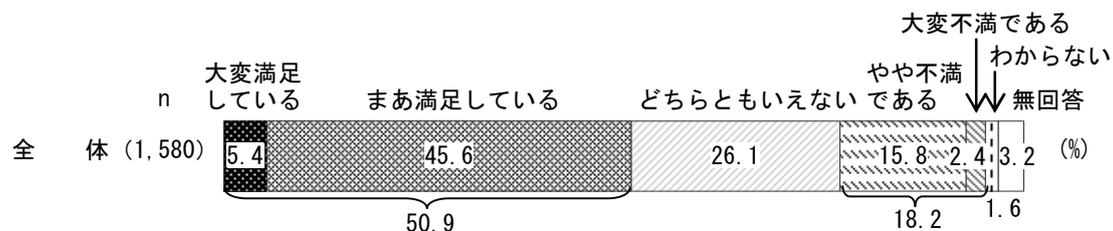


## (5) 自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』は5割を超える

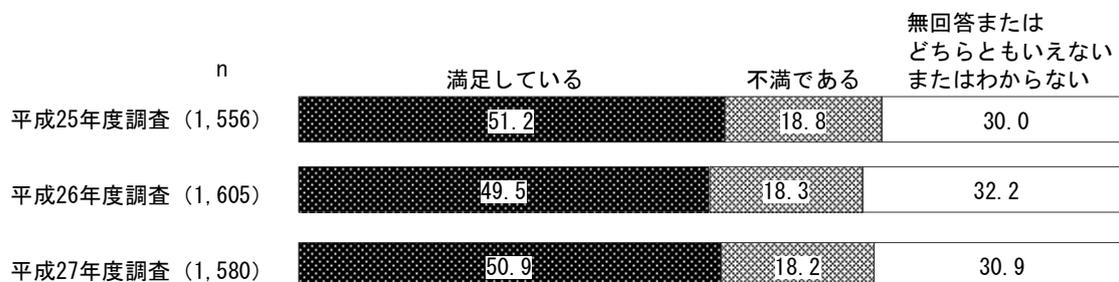
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような自然・周辺環境全般について満足していますか。(○は1つ)

<図表1-14>自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.4%)と「まあ満足している」(45.6%)を合わせた『満足している』(50.9%)は5割となっている。一方、「やや不満である」(15.8%)と「大変不満である」(2.4%)を合わせた『不満である』(18.2%)は約2割となっている。(図表1-14)

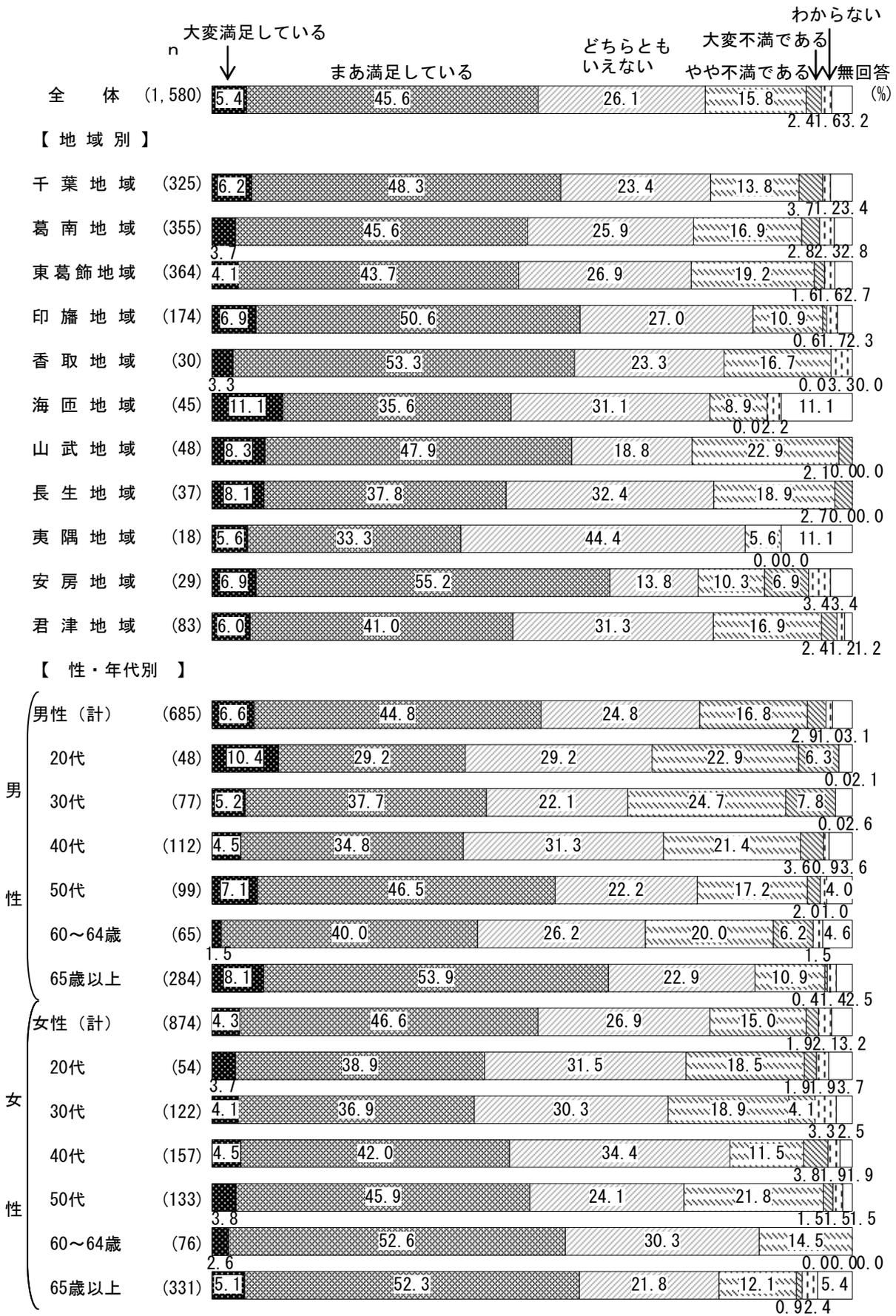
〔参考〕平成25年度・平成26年度調査の同様の項目による調査結果との比較



### 【性・年代別】

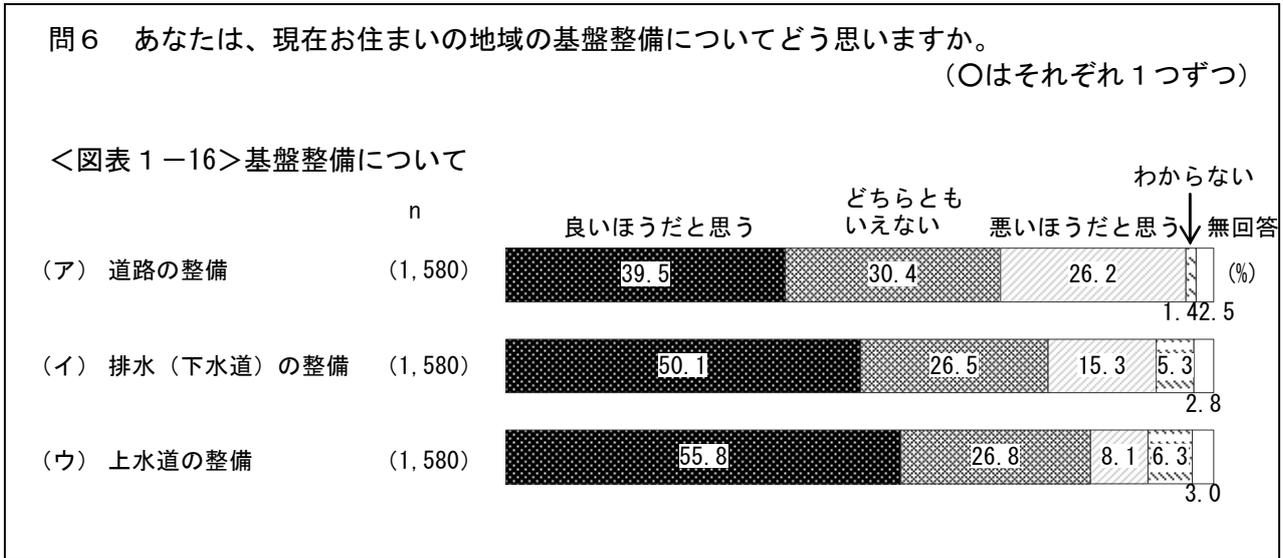
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(62.0%)で6割を超え、女性の65歳以上(57.4%)で約6割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の30代(32.5%)で3割を超え、他の年代に比べて高くなっている。(図表1-15)

<図表1-15> 自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



## (6) 基盤整備について

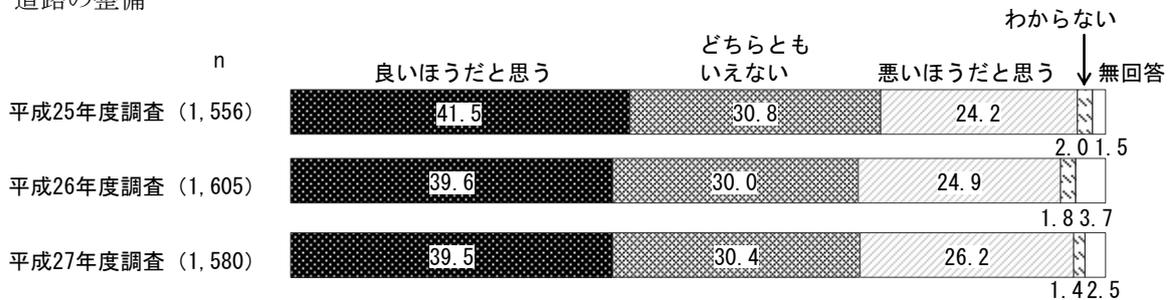
◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で5割台半ば



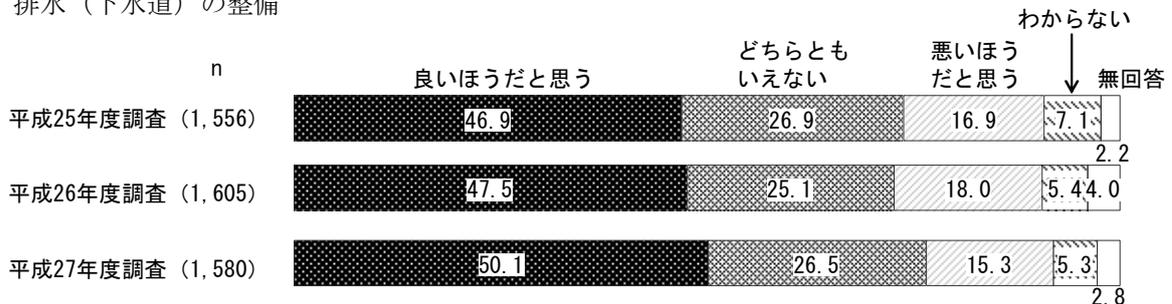
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(55.8%)で5割台半ばとなっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(50.1%)が5割、〈道路の整備〉(39.5%)が約4割となっている。(図表1-16)

[参考] 平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

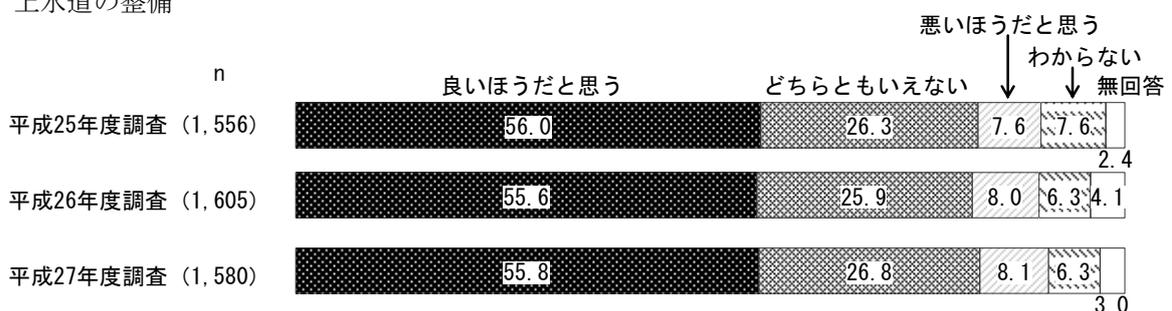
### (ア) 道路の整備



### (イ) 排水(下水道)の整備



### (ウ) 上水道の整備



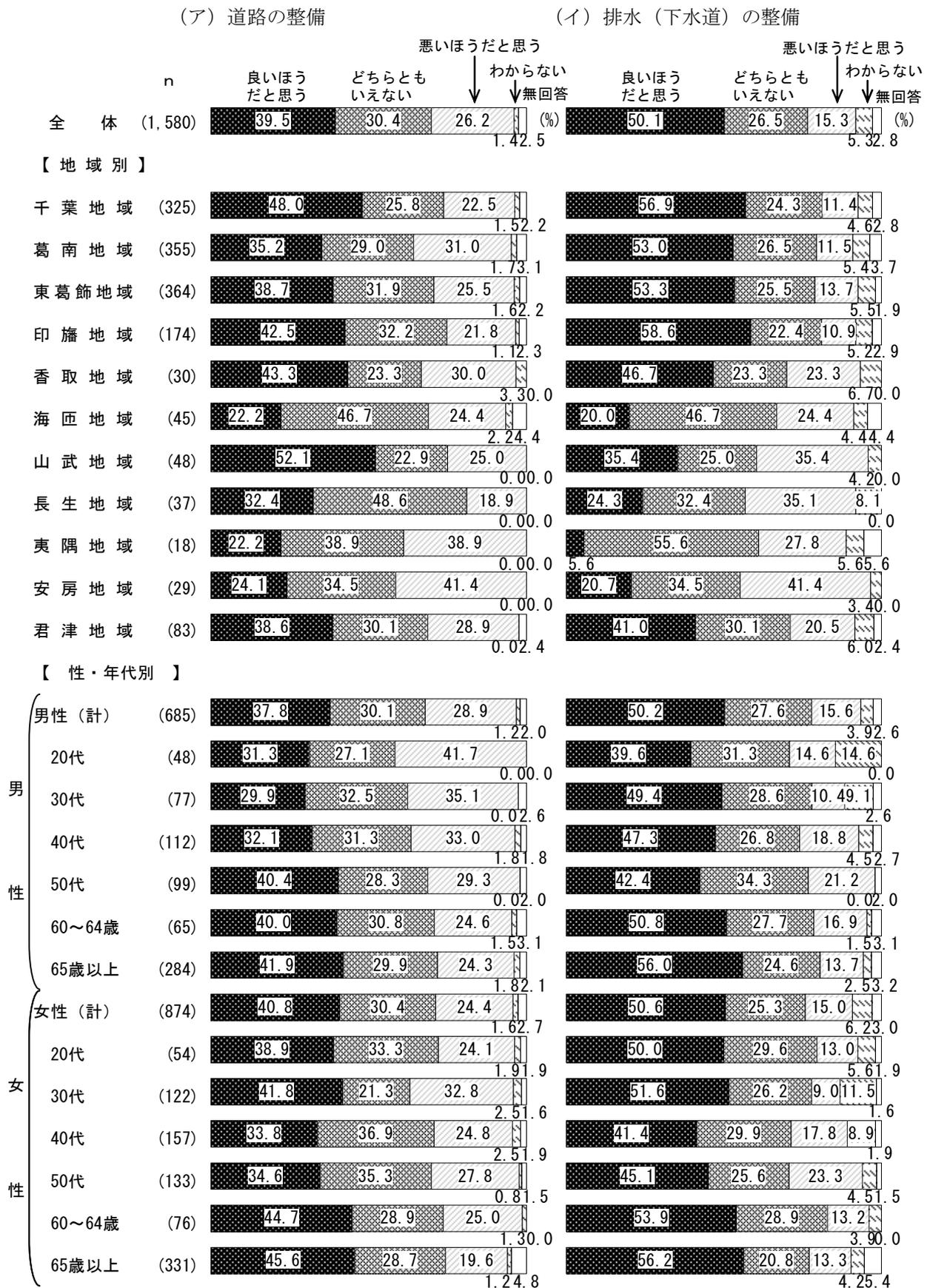
### 【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“山武地域”（52.1%）で5割を超え、“千葉地域”（48.0%）でも約5割と高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（41.4%）で4割を超えて高い。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”（58.6%）で約6割、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（41.4%）で4割を超え、“山武地域”（35.4%）、“長生地域”（35.1%）で3割台半ばと高い。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（61.2%）で6割を超えて高くなっている。（図表1-17）

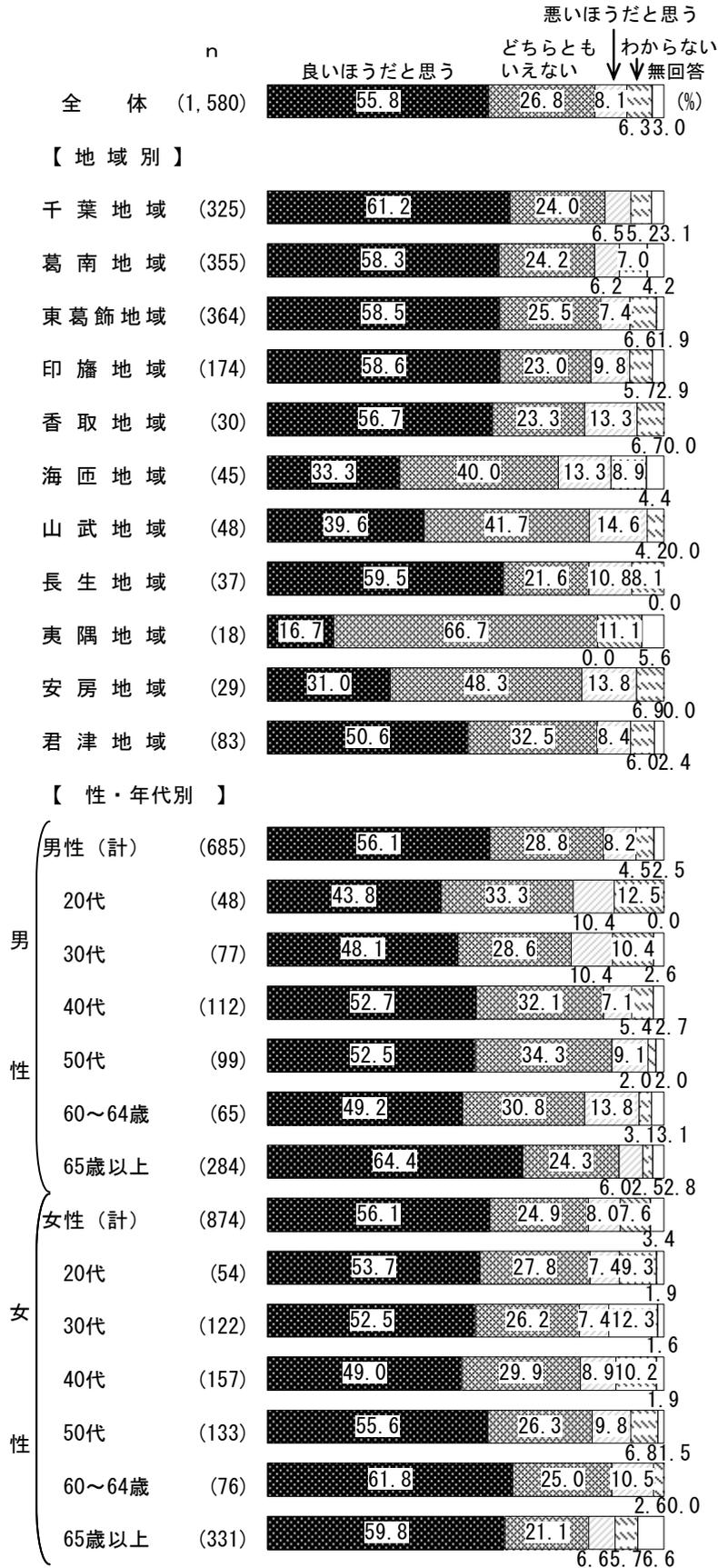
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上（45.6%）で4割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代（41.7%）で4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上（56.2%）、男性の65歳以上（56.0%）で5割台半ばと高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（64.4%）で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。（図表1-17）

<図表1-17> 基盤整備について/地域別、性・年代別



(ウ) 上水道の整備

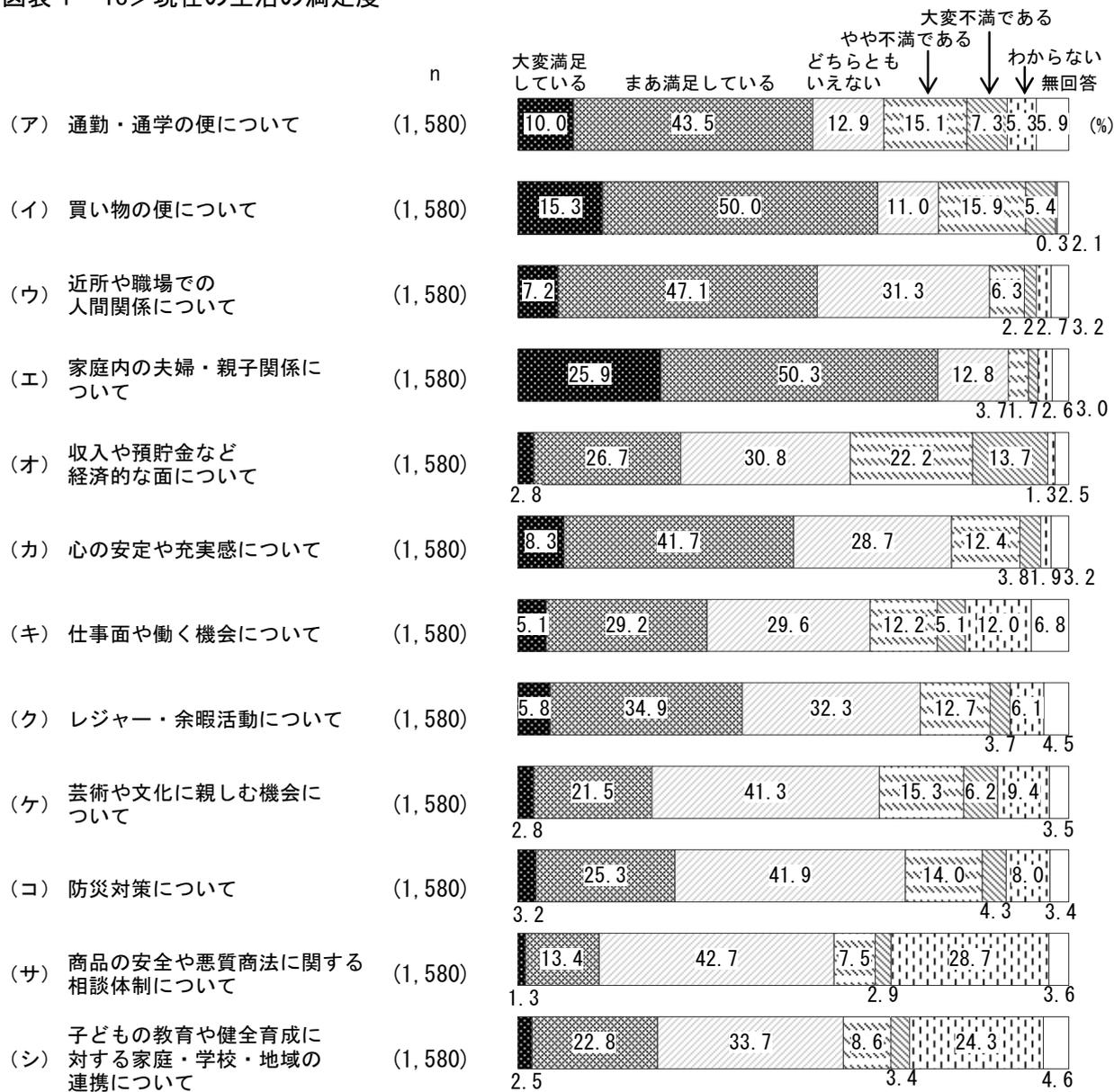


## (7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表1-18>現在の生活の満足度

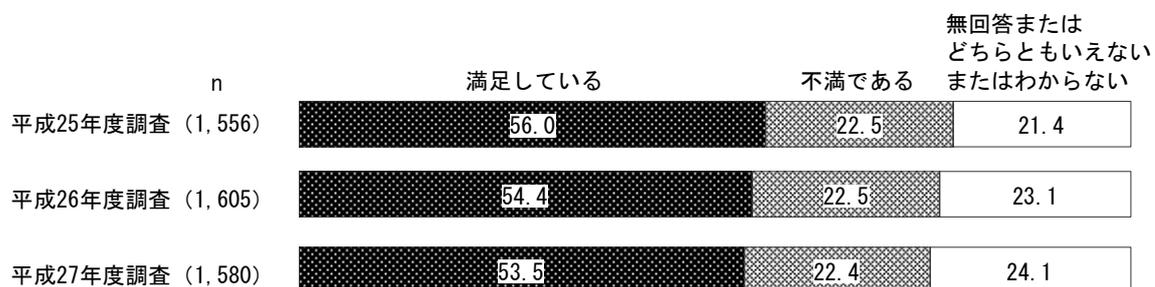


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(76.2%)が7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(65.3%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.2%)、〈通勤・通学の便について〉(53.5%)と続く。

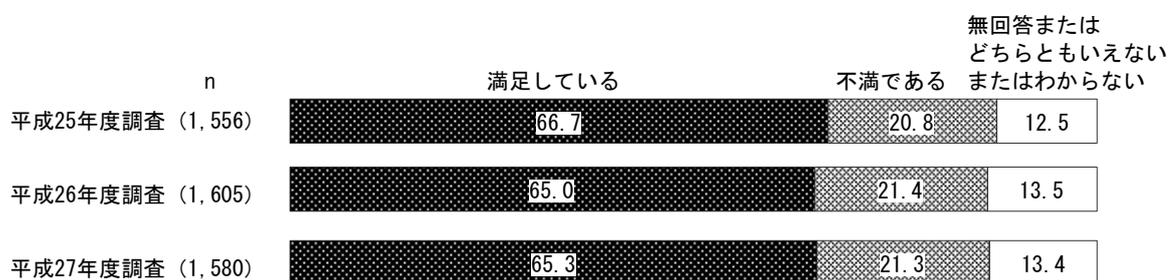
一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』の割合は、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(35.9%)が3割台半ばとなっており、12個の項目でこの〈収入や預貯金など経済的な面について〉のみ、『不満である』が『満足している』を上回っている。(図表1-18)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

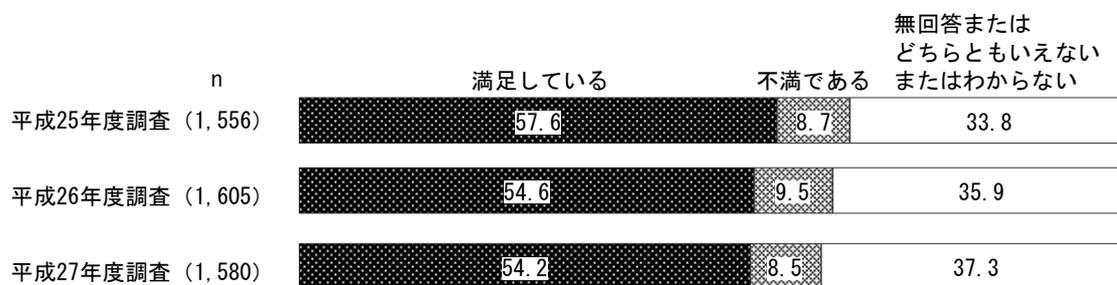
(ア) 通勤・通学の便について



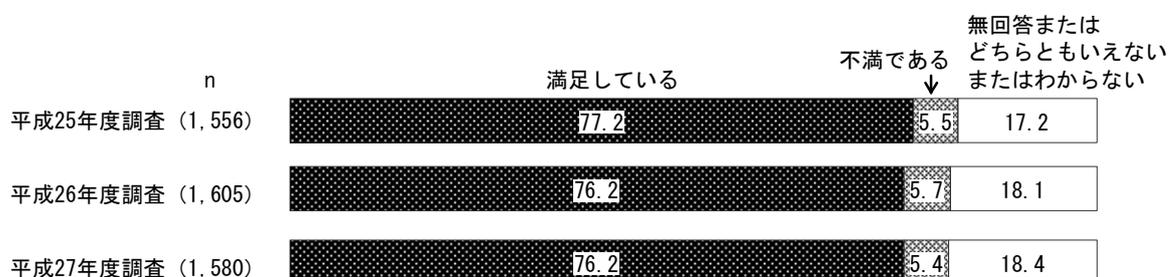
(イ) 買い物の便について



(ウ) 近所や職場での人間関係について

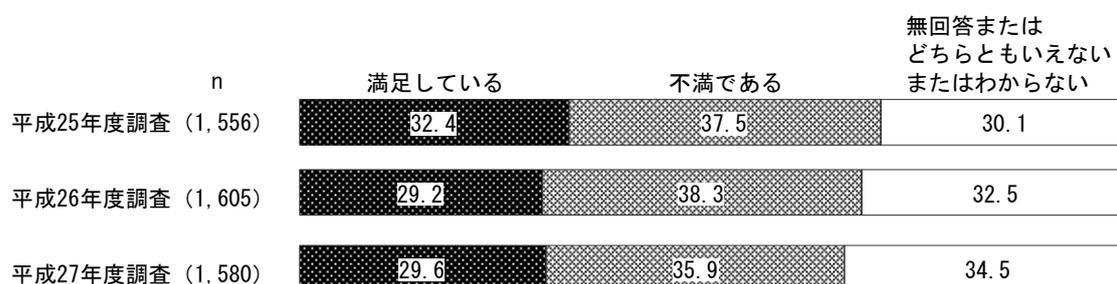


(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について

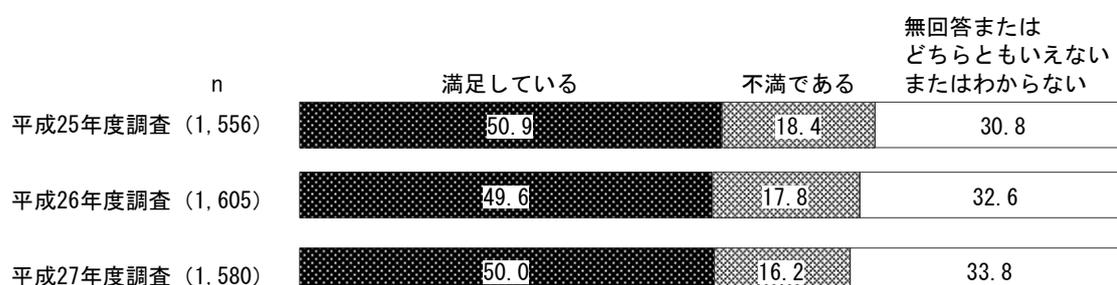


〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

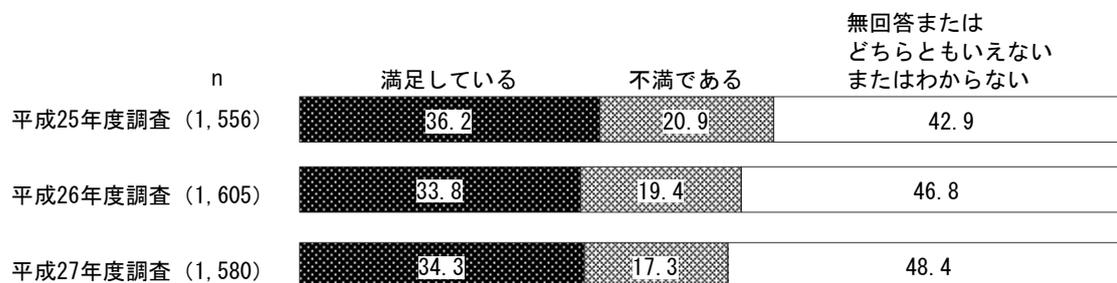
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について



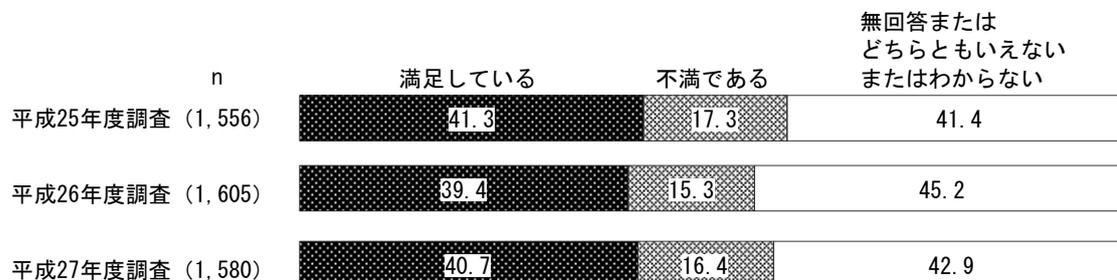
(カ) 心の安定や充実感について



(キ) 仕事面や働く機会について

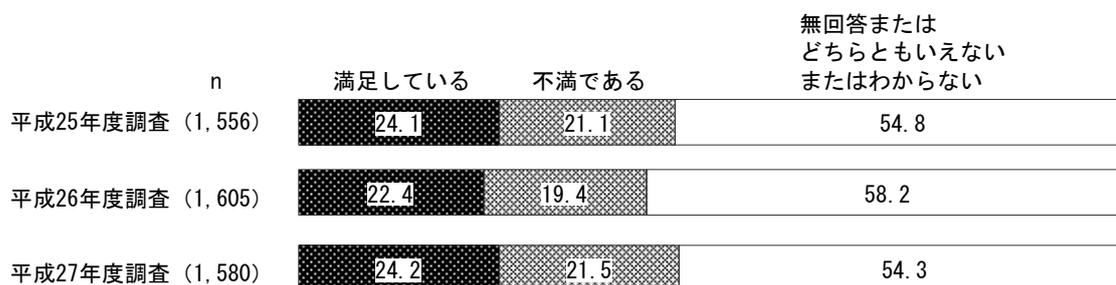


(ク) レジャー・余暇活動について

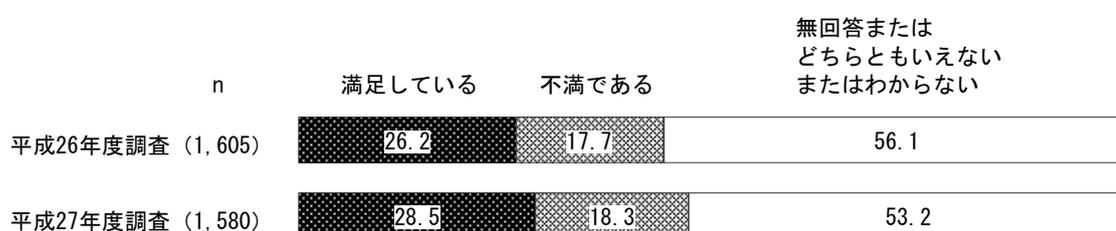


〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

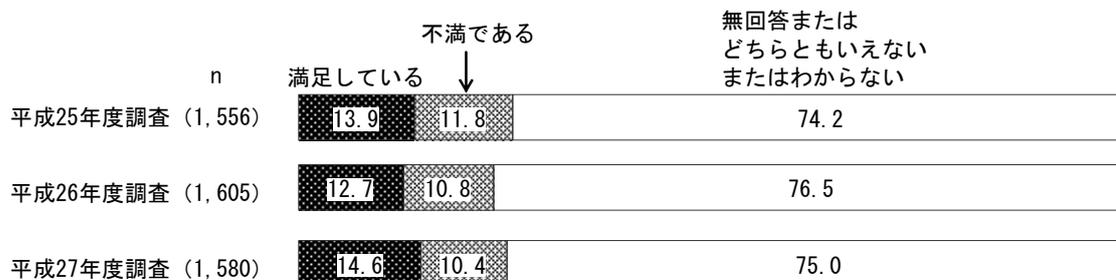
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について



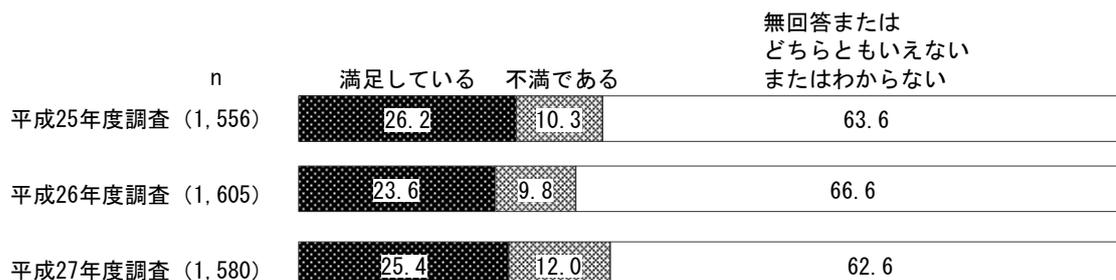
(コ) 「防災対策について」 ※平成26年度から聴取



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



## 【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（67.6%）で約7割となっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（50.0%）が5割、“安房地域”（44.8%）で4割台半ばと高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（76.6%）で7割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（66.7%）で6割台半ば、“安房地域”（55.2%）で5割台半ばと高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“千葉地域”、“香取地域”（同率60.0%）で6割と高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“千葉地域”（35.1%）、“葛南地域”（34.6%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（58.6%）で約6割と高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“葛南地域”（56.9%）で5割台半ばと高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（40.6%）で4割と高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（41.4%）で4割を超え、“香取地域”（33.3%）で3割台半ば、“海匝地域”（31.1%）で3割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『不満である』は“海匝地域”、“夷隅地域”（同率33.3%）で3割台半ば、“安房地域”（31.0%）で3割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（30.1%）で3割と高くなっている。一方、『不満である』は“長生地域”（35.1%）、“君津地域”（34.9%）、“安房地域”（34.5%）で3割台半ばと高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“印旛地域”（35.1%）で3割台半ばと高くなっている。（図表1-19）

## 【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は女性の20代（75.9%）で7割台半ば、男性の50代（63.6%）で6割台半ばと高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は女性の20代（79.6%）で約8割と高く、「大変満足している」が女性の30代（25.4%）で2割台半ばと高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、「大変満足している」は女性の20代（16.7%）で1割台半ばと高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、「大変満足している」は男性の30代（39.0%）、女性の30代（36.1%）で3割台半ばと高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は男性の50代（35.4%）、男性の65歳以上（35.2%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（52.1%）、男性の30代（51.9%）で5割を超えて高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は男性の60～64歳（61.5%）で6割を超え、男性の65歳以上（57.7%）で約6割と高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は女性の20代（59.3%）で約6割、男性の60～64歳（52.3%）で5割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（55.6%）で5割台半ば、男性の60～64歳（52.3%）で5割を超え、女性の30代（50.8%）で5割と高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の30代（35.2%）で3割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（33.3%）で3割台半ば、女性の50代（29.3%）が約3割と高くなっている。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の65歳以上（37.0%）で約4割、女性の65歳以上（33.8%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は女性の30代（32.8%）で3割を超え、女性の20代（29.6%）も約3割と高くなっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において全ての性・年代で「どちらともいえない」の割合が最も高い。一方、『不満である』は男性の50代（20.2%）で2割と高くなっている。

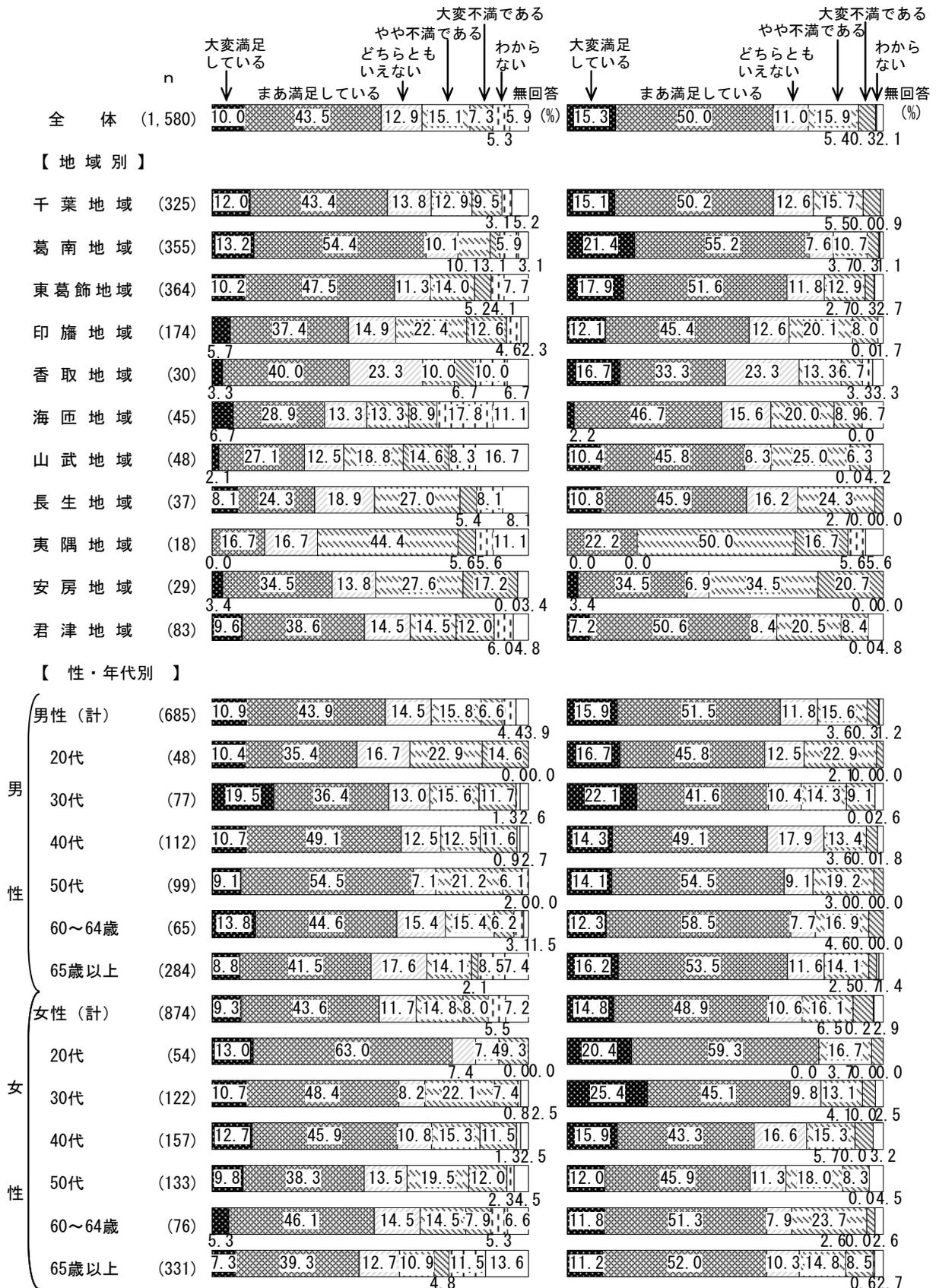
〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は男性の50代（35.4%）で3割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（25.0%）で2割台半ば、女性の30代（20.5%）で2割と高くなっている。

（図表1-19）

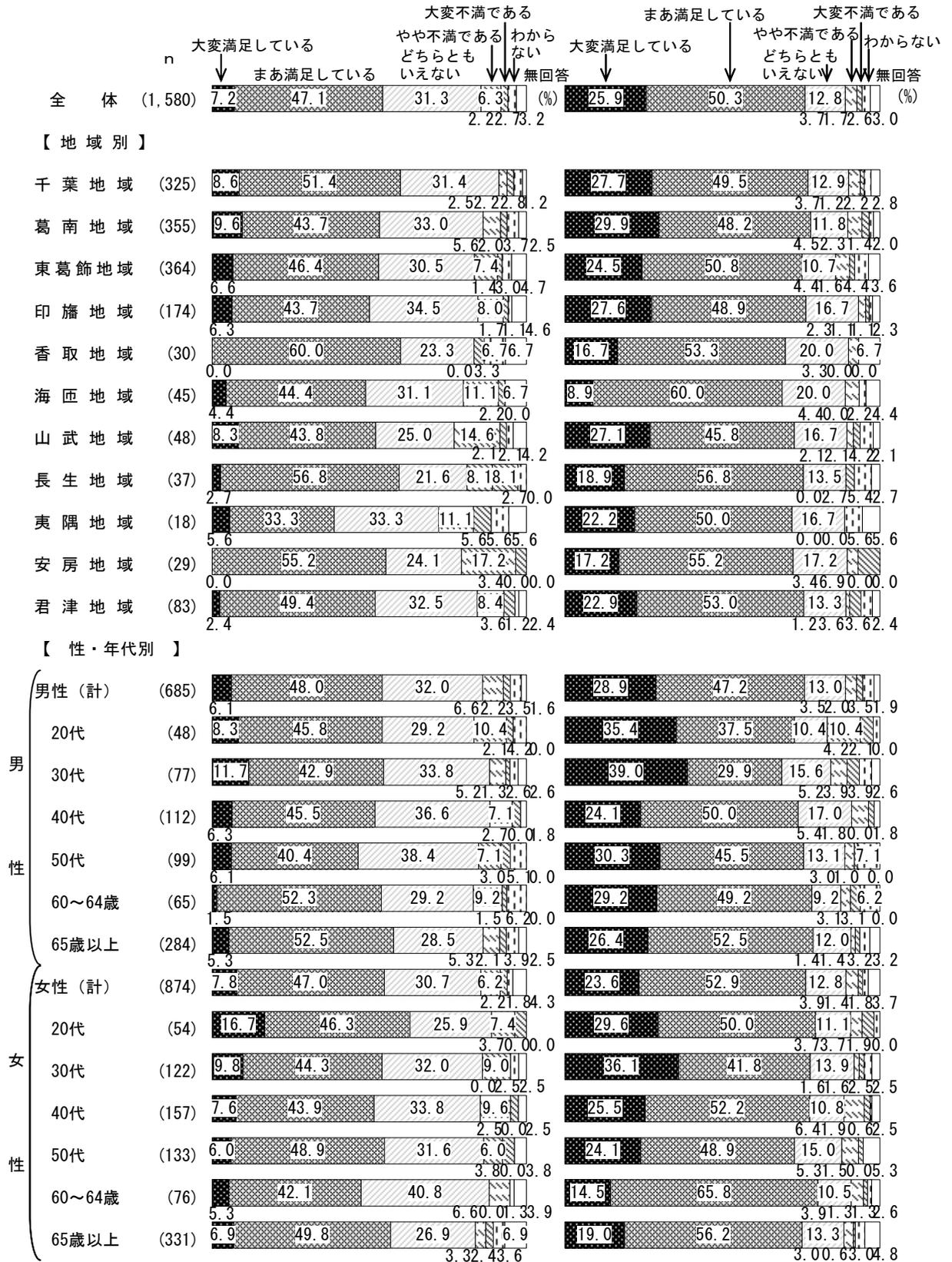
<図表1-19> 現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について

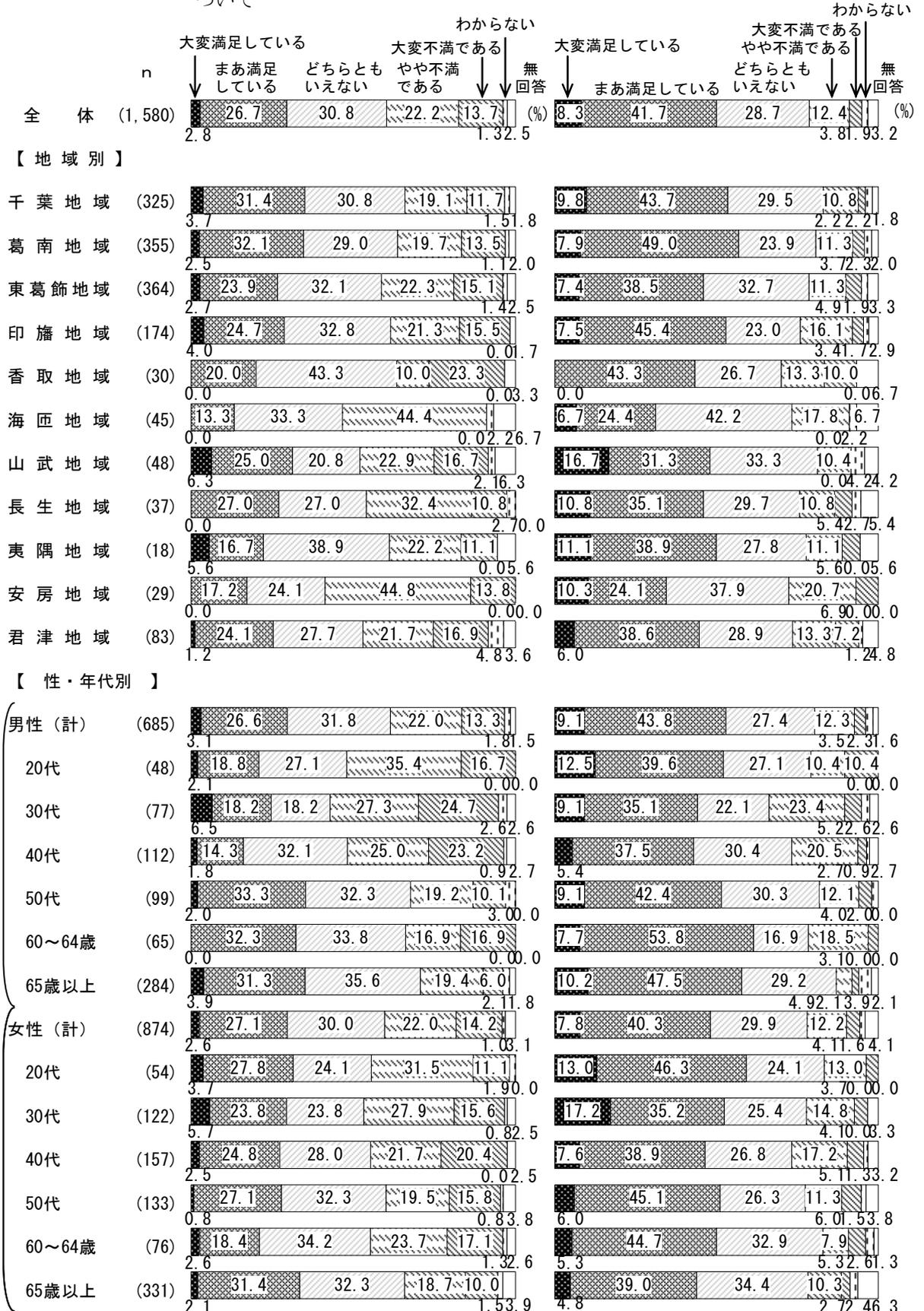


(ウ) 近所や職場での人間関係について (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



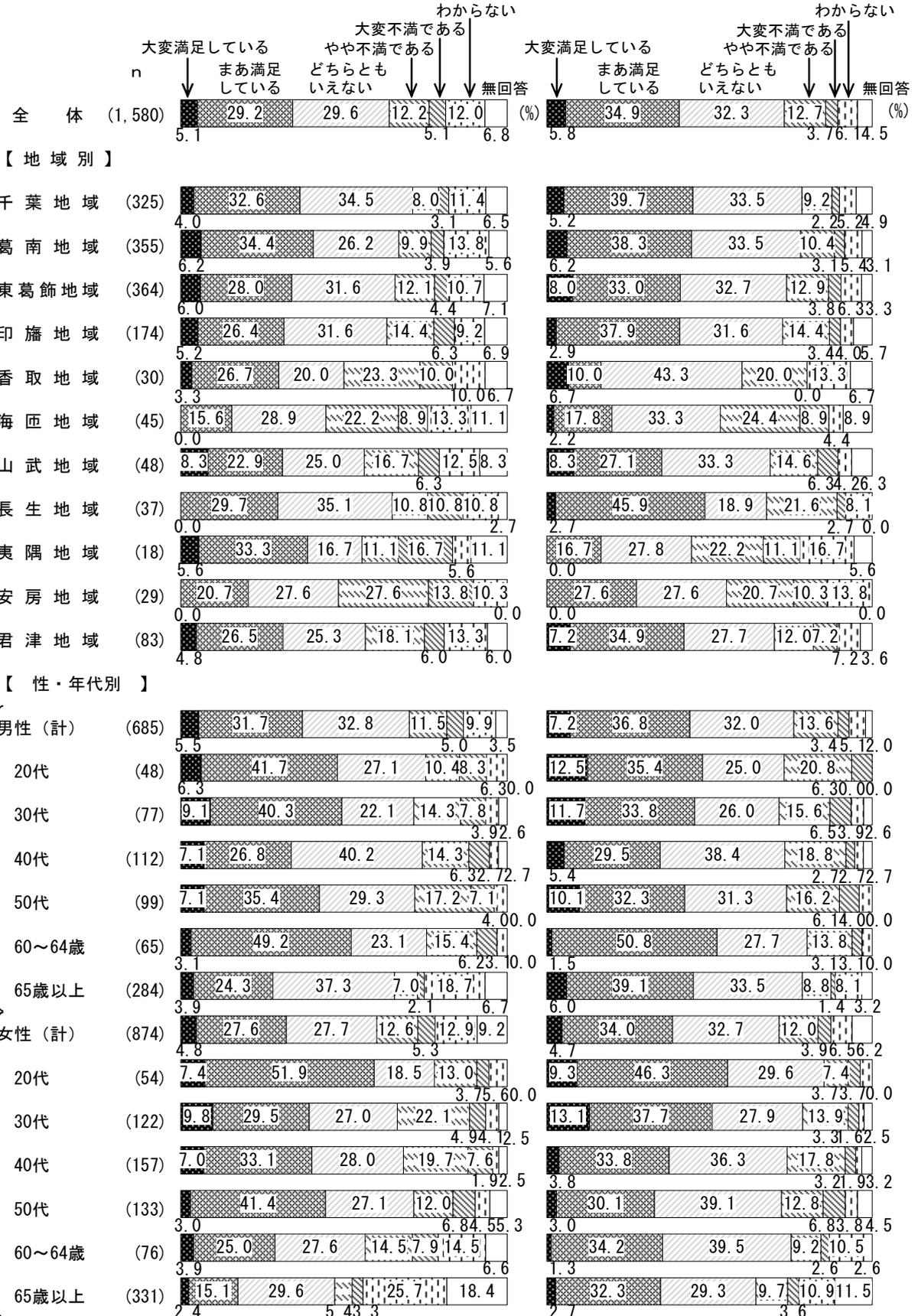
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

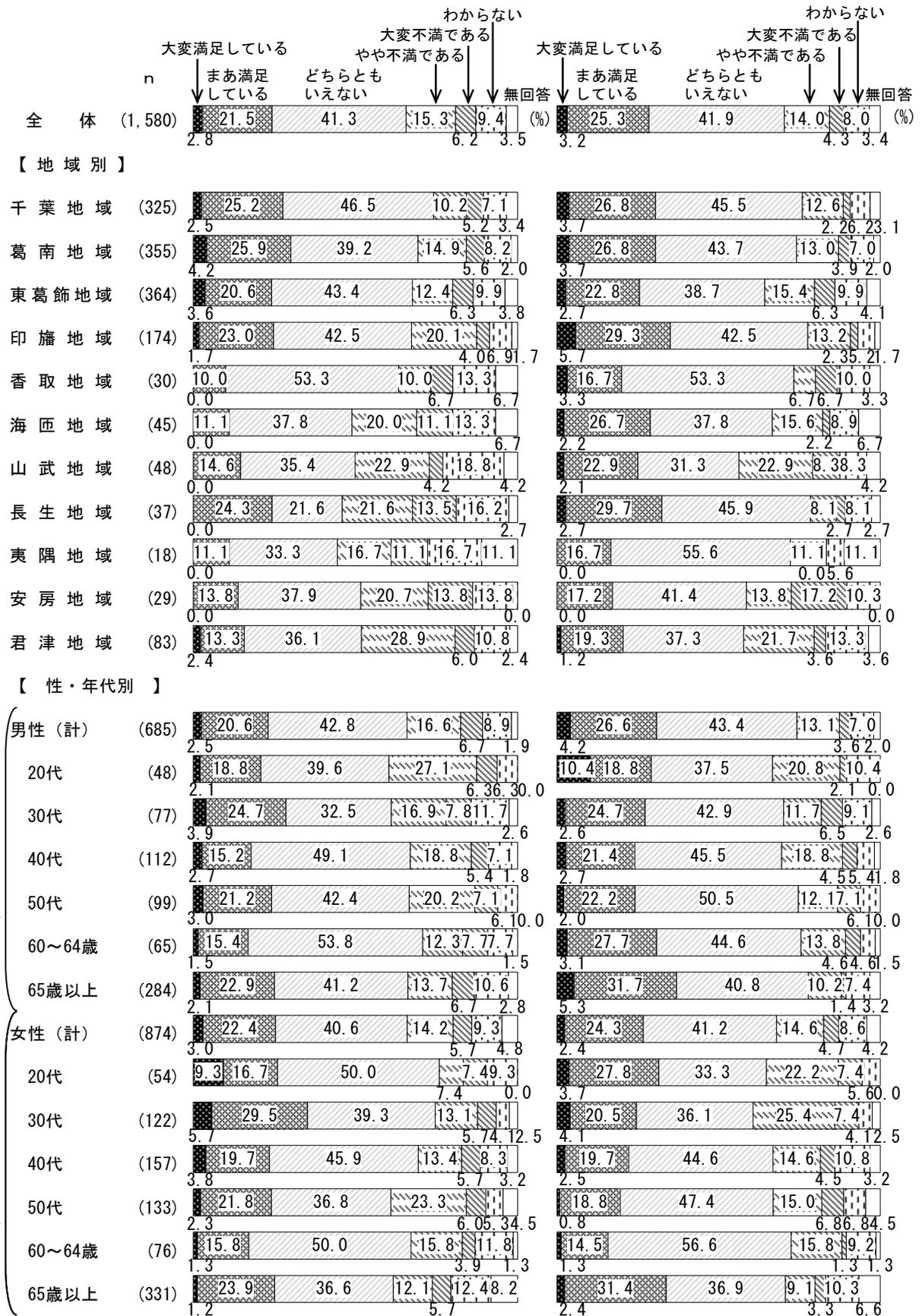


(キ) 仕事面や働く機会について

(ク) レジャー・余暇活動について

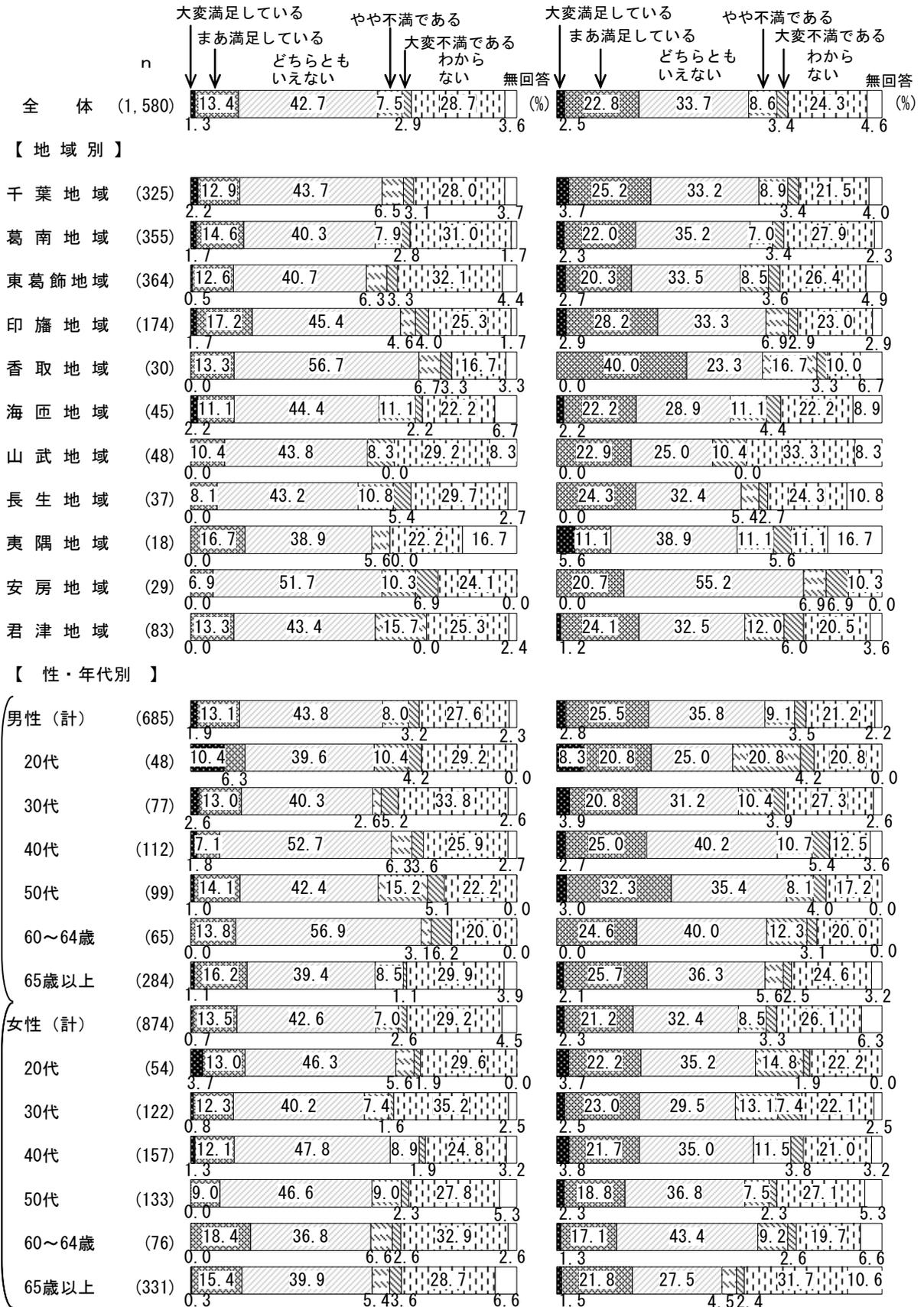


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する  
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する  
家庭・学校・地域の連携について

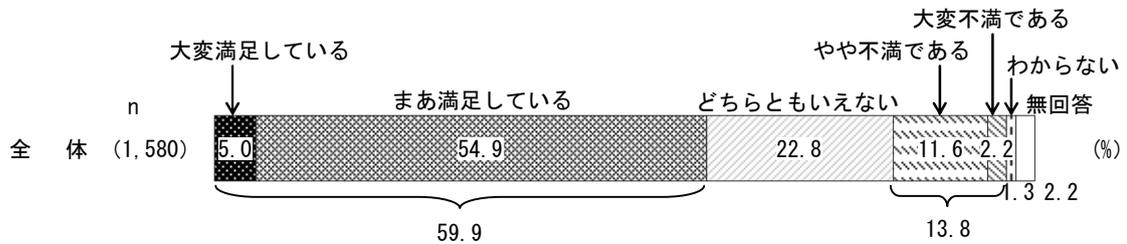


## (8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が約6割

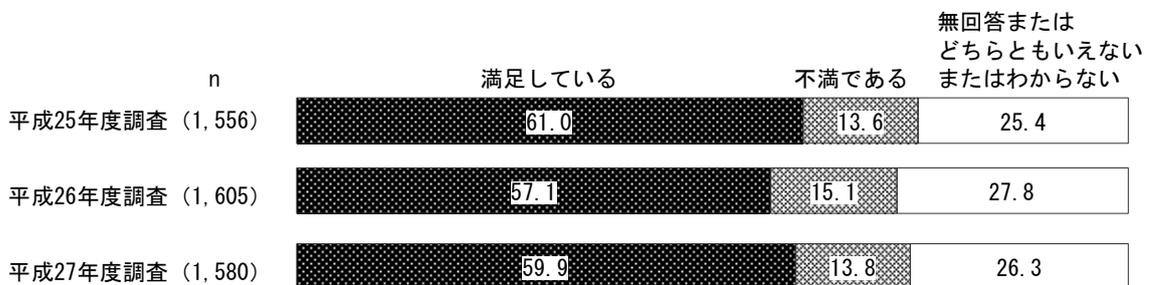
問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。  
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（5.0%）と「まあ満足している」（54.9%）を合わせた『満足している』（59.9%）は約6割となっている。一方、「やや不満である」（11.6%）と「大変不満である」（2.2%）を合わせた『不満である』（13.8%）は1割台半ばとなっている。（図表1-20）

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



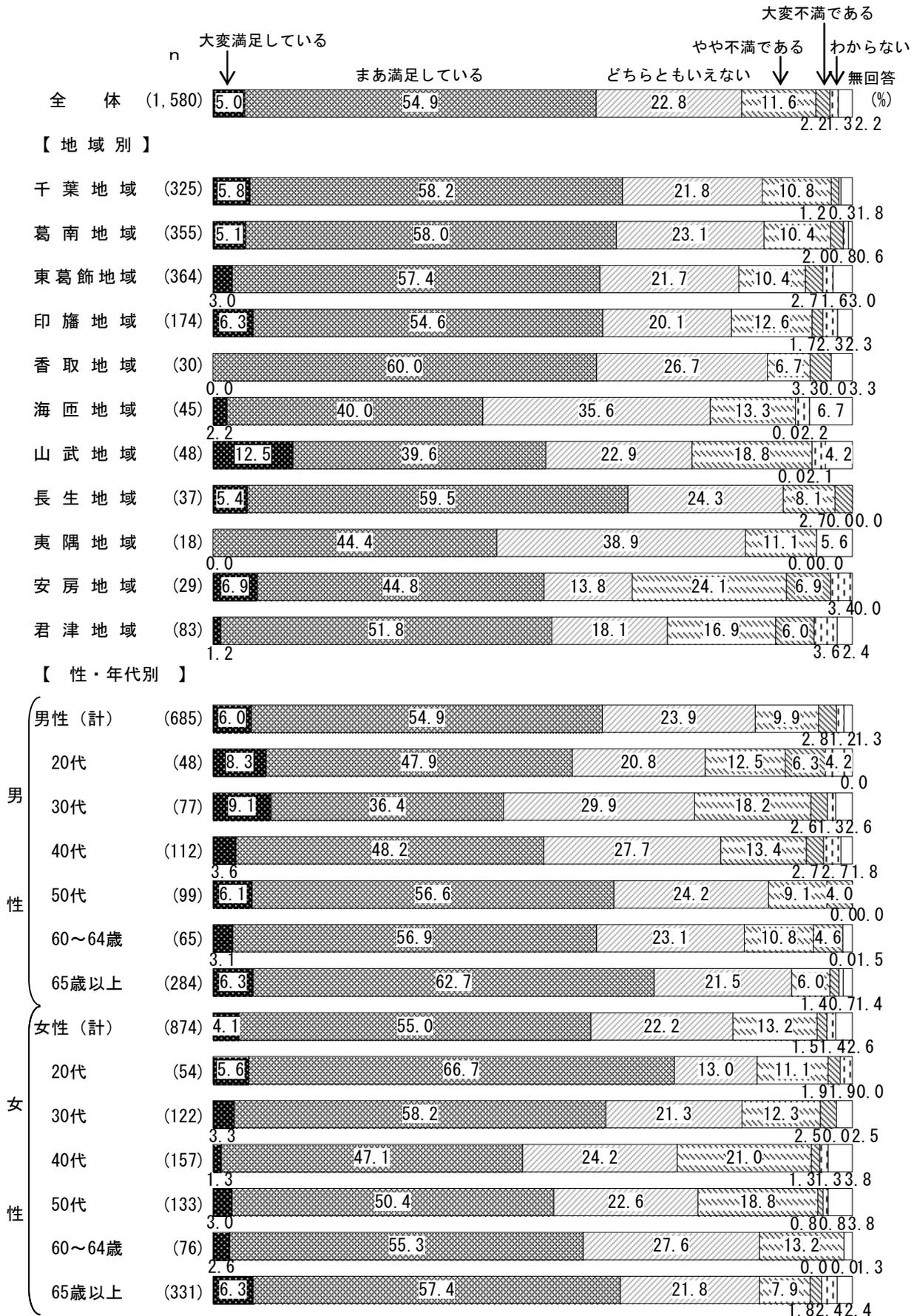
### 【地域別】

地域別にみると、『不満である』は“安房地域”（31.0%）で3割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。（図表1-21）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の20代（72.2%）で7割を超え、男性の65歳以上（69.0%）で約7割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は女性の40代（22.3%）で2割を超えて高くなっている。（図表1-21）

<図表 1-21> 住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

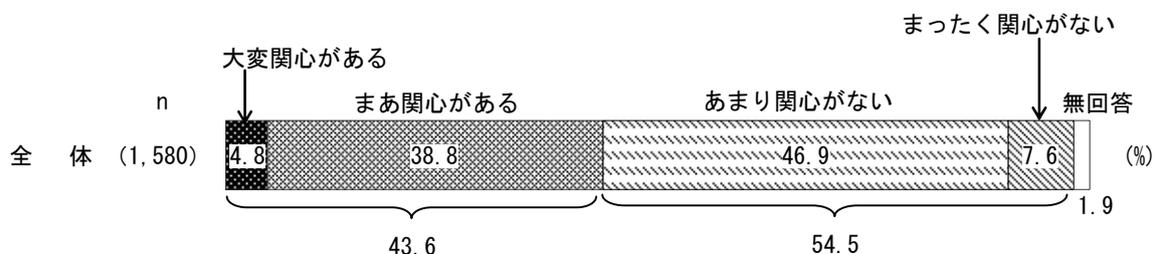


## (9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある』は4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

<図表1-22>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体やボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(4.8%)、「まあ関心がある」(38.8%)となっており、2つを合わせた『関心がある』(43.6%)は4割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(46.9%)、「まったく関心がない」(7.6%)を合わせた『関心がない』(54.5%)は5割台半ばとなっており、『関心がない』割合が『関心がある』を上回っている。

(図表1-22)

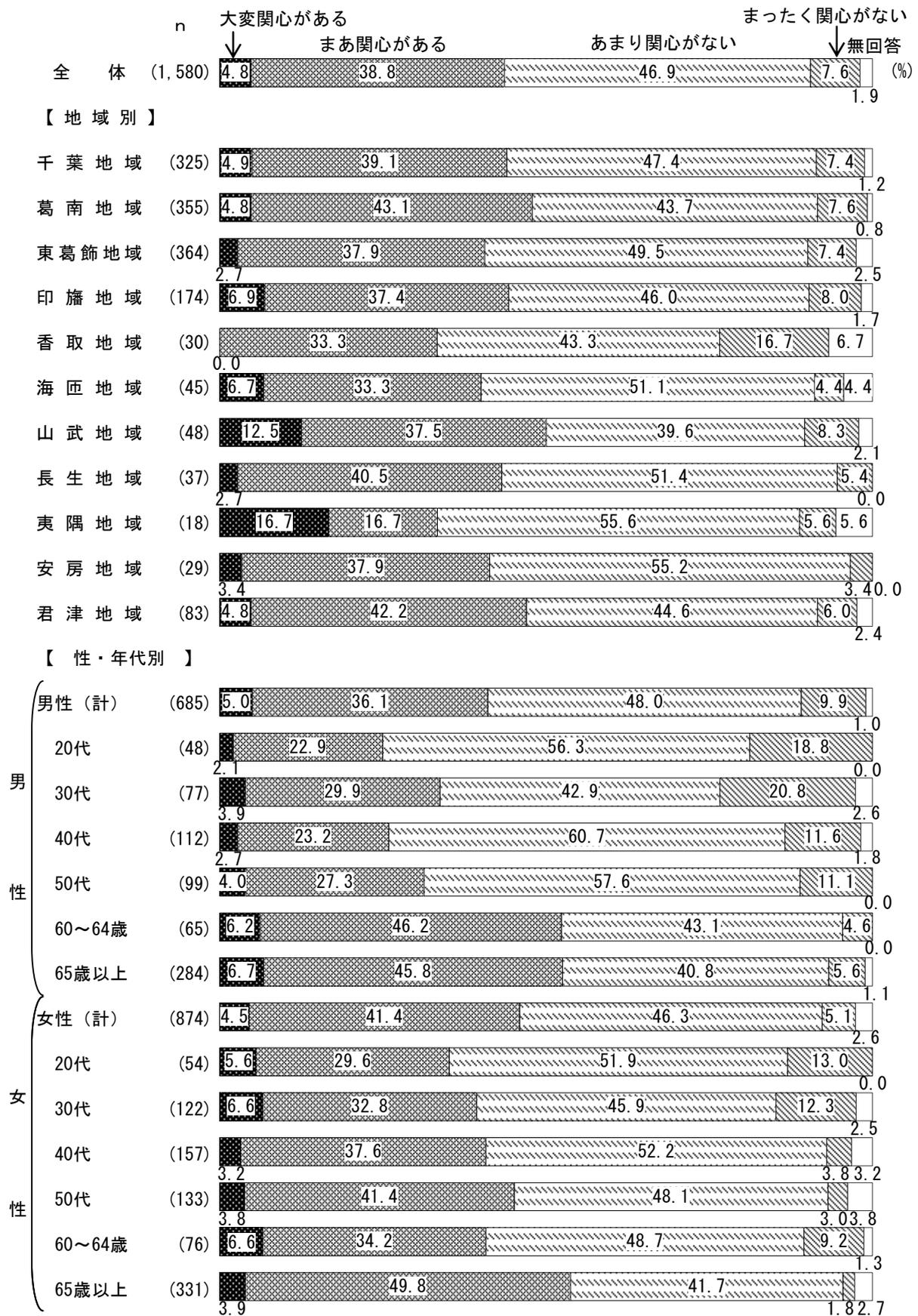
### 【地域別】

地域別にみると、「大変関心がある」は“夷隅地域”(16.7%)が1割台半ば、“山武地域”(12.5%)で1割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1-23)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は女性の65歳以上(53.8%)が5割台半ば、男性の65歳以上(52.5%)、男性の60~64歳(52.3%)で5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-23)

<図表1-23>市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



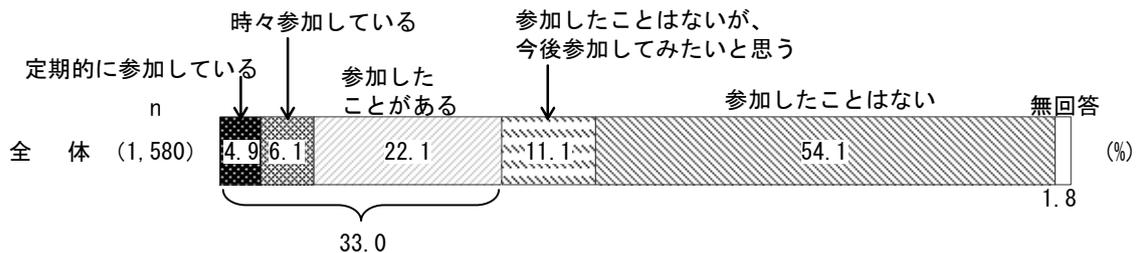
## (10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇「参加したことはない」は5割台半ば

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

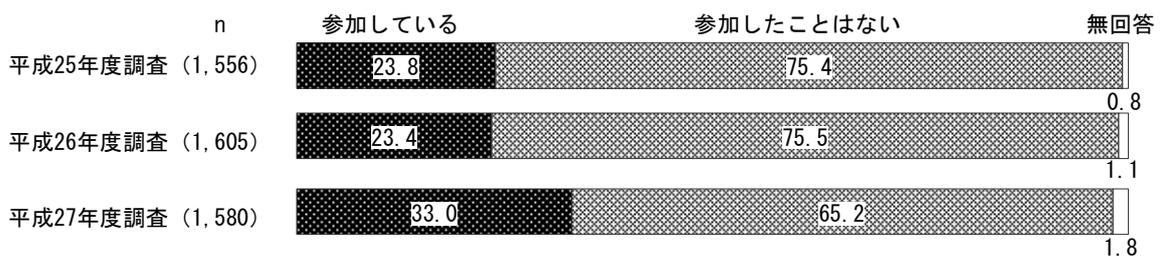
<図表 1-24>市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(4.9%)と「時々参加している」(6.1%)、「参加したことがある」(22.1%)の3つを合わせた『参加している』(33.0%)は3割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると『参加している』割合は大きく上昇した。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(11.1%)は1割を超え、「参加したことはない」(54.1%)は5割台半ばとなっている。(図表1-24)

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



### 【地域別】

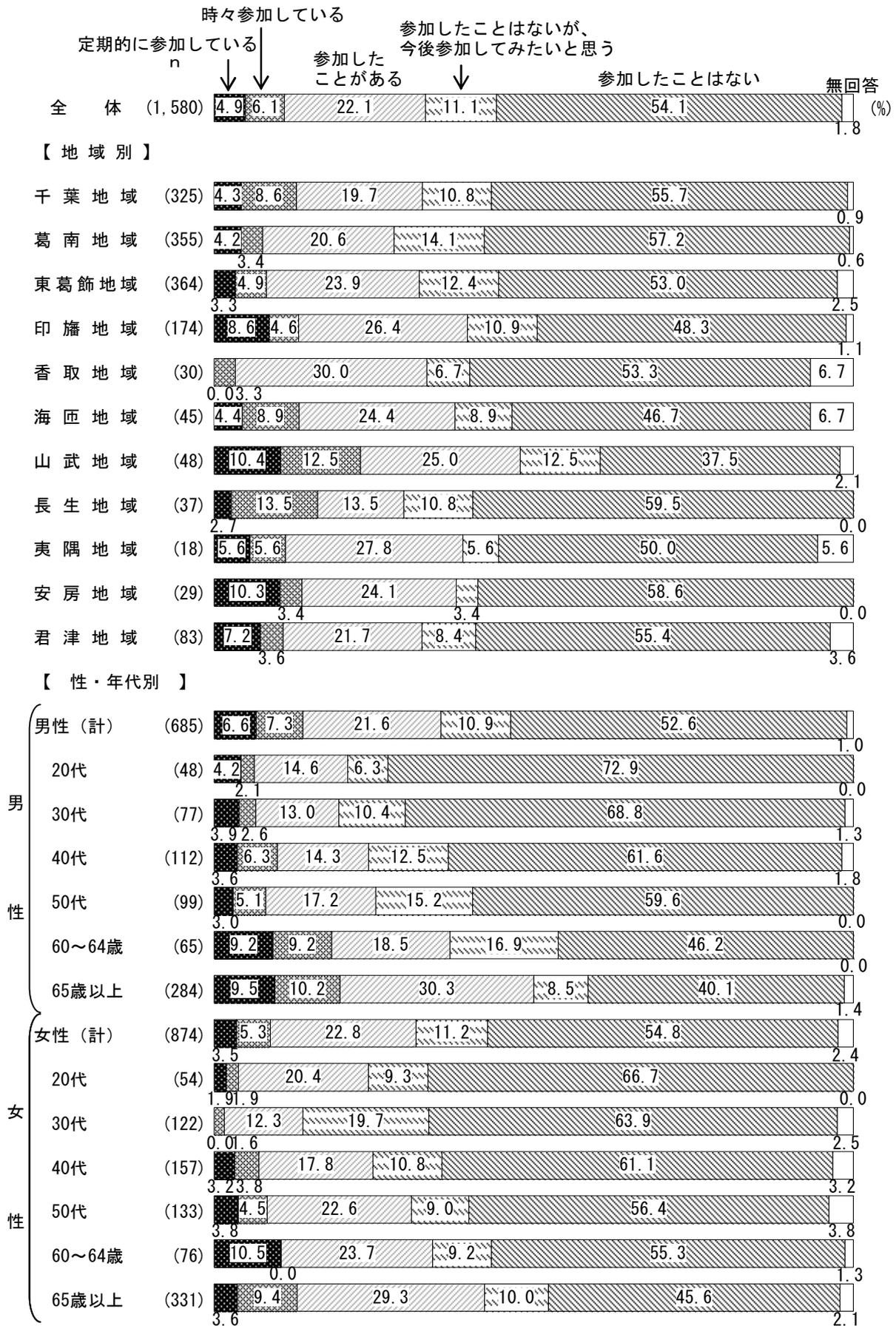
地域別にみると、『参加している』は“山武地域”(47.9%)が約5割、“印旛地域”(39.7%)で約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1-25)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』は男性の65歳以上(50.0%)が5割、女性の65歳以上(42.3%)で4割を超えてと他の年代に比べて高くなっている。一方、「参加したことはない」は男性の20代(72.9%)で7割を超え、男性の30代(68.8%)で約7割と他の年代に比べて高くなっている。

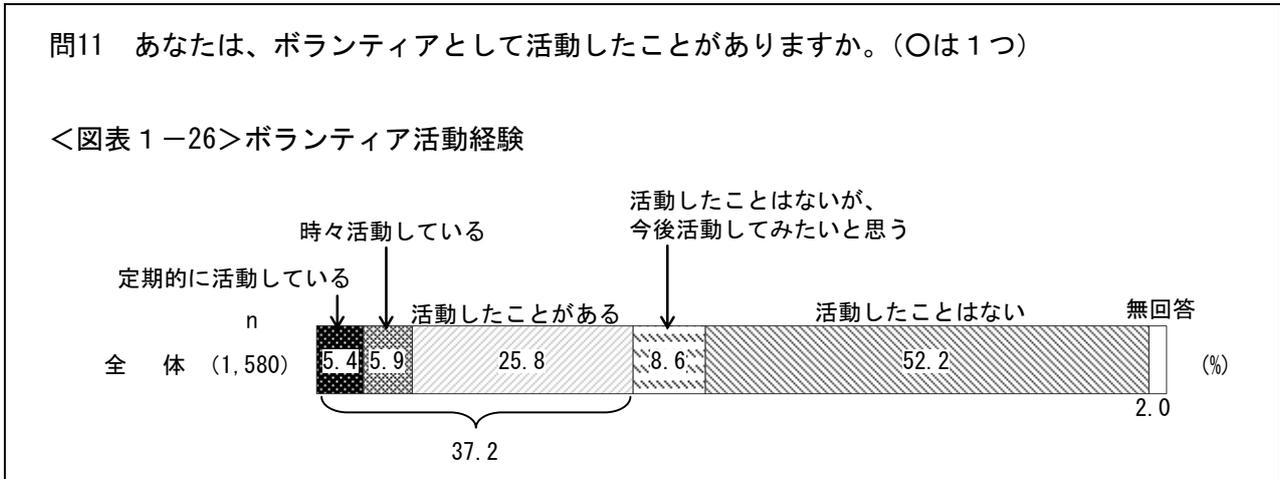
(図表1-25)

<図表 1-25> 市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



## (11) ボランティア活動経験

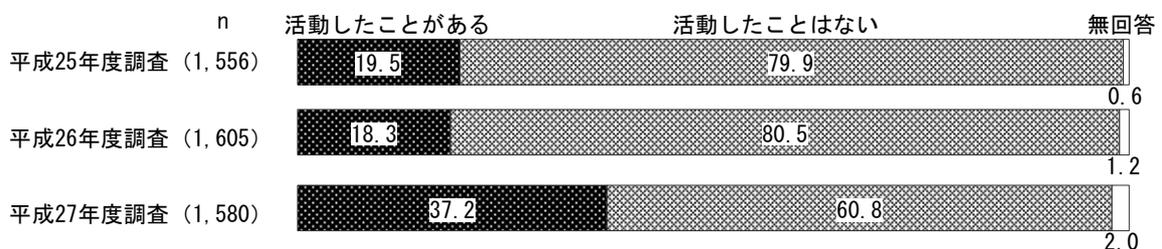
◇「活動したことがある」は約4割



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「定期的活動中」(5.4%)、「時々活動中」(5.9%)、「活動したことがある」(25.8%)を合わせた『活動したことがある』(37.2%)は約4割となっている。一方、「活動したことはない」(52.2%)は5割を超えている。

(図表1-26)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



### 【地域別】

地域別にみると、「定期的活動中」は“山武地域”(14.6%)で1割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-27)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「定期的活動中」は男性の65歳以上(10.6%)、女性の60~64歳(10.5%)で1割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-27)

<図表1-27> ボランティア活動経験/地域別、性・年代別

